

# 多賀工業会 東京支部會報

2010年8月 第13号

東京支部創立30周年記念号



雨情

<b>案内</b>	第30回東京支部総会開催のご案内	1	
<b>祝辞</b>	講演会の講師と概要紹介	松田 秀雄 1	
	多賀工業会東京支部 年表	広瀬 行一 2	
	東京支部30年の歩み	近江 義勝、広瀬 行一 3	
	東京支部30周年記念祝辞	本部会長 木曾 正明 4	
	創立30周年記念祝辞	茨大工学部長 神永 文人 5	
	設立30周年おめでとう	山本 栄治 6	
	多賀工業会発足当時の思い出	柳田 裕美 6	
	30周年記念コメント(寄せ書き)	7	
	東 學、秋山英樹、二川克美、松田秀雄、五十嵐喜良、栗原功幸、藤枝伸一、三好成實、駒場方耀、高野久弘、菊地玲二		
	東京支部の活動方針	支部長 三本木 武 9	
<b>報告</b>	第29回東京支部総会報告	青野 潔 10	
	前支部長の交替挨拶	近江 義勝 11	
	総会出席者名簿	11	
	講演会概要(講師:堀口 正治(昭46院子)氏 元NTT研究所主幹研究員 工学博士) (演題:光ファイバ通信の現状と今後の動向)	石川 久 12	
	総会写真展出展作品一覧	14	
	平成21年度東京支部会計報告	15	
	平成22年度東京支部予算案	15	
	<b>インタビュー記事(活躍人訪問)</b> 田崎 耕八氏		
	アクティブシニアの青春	インタビューア・菅谷 禎男 16	
	<b>随筆</b>	多摩新四国八十八ヶ所霊場巡拝記	朽本 二郎 18
さくらそうに魅せられて		吉田 宗昭 19	
中小企業の経営回顧録		小谷野 英勝 20	
私の新しい経験		橋本 弘道 21	
笠間クラインガルテン		吉田 真吾 22	
パワエレの世界の中で		松田 秀雄 23	
30年目の転職		笹沼 克己 24	
<b>支部めぐり</b>		中部支部の紹介	根本 弘 25
		パソコン動作が遅くなったような気がしませんか	会報編集室・石川 久 25
<b>お知らせ</b>		囲碁同好会	田中 栄太郎 26
	旧制水戸高校と親善囲碁大会	高田 丈夫 26	
	ゴルフ同好会	小澤 茂 27	
	山遊会	菅谷 禎男 28	
	写真同好会	小林 渡 30	
	こうがく祭写真展示会	石川 久 31	
	快舞会(ダンス同好会)	瀬在 城雄 32	
	ミニ情報 「市場化テスト」で母校第4位	会報編集室 32	
	平成22年度東京支部 組織体制と担当役務	33	
	平成21年度会費納入者	会報編集室 34	
	ホームページ編集室から	HP編集室・矢野 睦男 36	
	編集後記	36	
	東京支部会則	表3	
	協賛広告	上野精養軒・サイバーリンクス・大協印刷 表4	

**表紙の説明 : 雨情 (撮影 2009年9月)**

鎌倉鶴岡八幡宮の秋の例大祭の一場面です。生憎、雨模様のお天気でしたが、長い階段を和傘をさして肅々と本殿に向かう、古式豊かな装束に身を包んだ神職の風情のある行列を撮ることが出来ました。ところで、左側から枝を差し伸べているのは、「公暁の隠れ銀杏」といわれ、鶴岡八幡宮のシンボリック存在の大銀杏でしたが、残念なことに先日(2010-3-10)の強風で根元から倒れてしまい、その雄姿を今は見る事ができません。

澤野 孝慈 (昭37学機)

# 第 30 回多賀工業会東京支部総会開催のご案内

1. 日 時 平成 22 年 10 月 16 日 (土) 午後 3 時から
2. 場 所 上野精養軒 (右図参照)  
東京都台東区上野公園 4-58  
電話 03-3821-2181 (代表)

## 交 通

- : J R 上野駅公園口下車徒歩 5 分
- : 京成線京成上野駅下車徒歩 5 分
- : 東京メトロ銀座線日比谷線上野駅下車  
西郷隆盛像から徒歩 5 分

3. 会 費 10,000 円 (当日受付にて申し受けます)
4. 総 会 午後 3 時~午後 4 時
5. 講演会 午後 4 時~午後 5 時

演題「オーロラの魅力」

講師 五十嵐 喜良 (昭 47 学子) 氏  
(社)電波産業会研究開発本部開発センター長  
博士 (情報学)

講師略歴等は下記をご覧ください。

6. 懇親会 午後 5 時 00 分~7 時ごろまで
7. 写真展 総会の会場内に展示します。(一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上事前に連絡窓口(30 ページ参照)の小林 渡まで電話又はメールで連絡下さい。)
8. お願い 出欠のご返事は 10 月 1 日 (金) までに同封のハガキにてお願いします。  
また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円をお振込みくださるようお願い申し上げます。
9. お問い合わせ先  
駒場 方耀 (昭 38 学機) TEL : 042-665-8387  
広瀬 行一 (昭 38 学電) TEL : 0297-78-8737



## 講演



講師：五十嵐 喜良 (昭 47 学子) 氏  
(社)電波産業会研究開発本部開発センター長  
博士 (情報学)

## 「オーロラの魅力」

最近では北極圏へのオーロラ見学旅行も盛んに行われるようになって  
会員の中にも行かれる方がいると思います。



講師は日本を代表する超高層大気研究の第一人者であり、例えば南極でのオゾンホール観測、北極圏での超高層大気の国際共同研究を通して、地球環境の変化について研究されてきました。

昨年、茨城大学工学部において同窓生・学生・教職員交流講演会で南極昭和基地のオーロラのビデオ、南極での越冬生活やエピソードを交えて講演されました。今回は同窓会諸兄にも楽しんでもらえるように面白く噛み砕いて講演してもらう予定です。

[紹介者：松田 秀雄 (昭 49 院子)]



講師略歴：阪大修士課程修了後旧郵政省電波研究所入所。第 19 次、23 次南極越冬隊員の後、マックスプランク超高層大気物理学研究所の客員研究員として西ドイツで研究し、NICT 退職後現職へ。2008 年ロシア・科学アカデミーの客員研究員も経験。

会報 9 号活躍人訪問  
に登場。

趣味：卓球、写真

## 多賀工業会 東京支部 年表

幹事長 広瀬行一（昭38学電）

回	年	月日	場 所	支部長	出席者	備 考	講 師	演 題
1	1981 (S56)	6.27 (土)	東條会館	石井善郎	98名	(内工専76名)	末次一郎	
2	1982 (S57)	6.4 (金)	"	"	111	(内工専98名)	大内幸夫(NHK解説委員) 曾根晃平(東京消防庁)	石油の将来 最近の消防について
3	1983 (S58)	6.3 (金)	"	"	97		山本賢三(原研削理事長)	世界のエネルギーと 原子力開発
4	1984 (S59)	10.5 (金)	"	"	127		黒木剛司郎(茨大学長)	最近の大学事情と 学生気質について
5	1985 (S60)	6.7 (金)	"	"	152	(内工専96名)	藤田史郎(NTT建設局長)	ニューメディア時代を 迎えて
6	1986 (S61)	6.13 (金)	"	"	140		難波靖治(日産自動車)	最近のモータースポーツ について
7	1987 (S62)	6.14 (日)	"	"	175		瀬谷重信 (NTTデータ通信)	競争時代の電通事業と 企業の対応
8	1988 (S63)	6.3 (金)	"	"	164	(内工専76名)	武田 宏(鉄道総研)	リニアモーターカーの 現状と将来
9	1989 (S64) (H1)	5.28 (日)	茨大	"	140	創立50周年	藤田史郎 (NTTデータ通信社長)	新しいライフスタイルと 情報社会
10	1990 (H2)	6.9 (土)	東條会館	"	136	(内工専90名)	50周年記念行事	ビデオの上映
11	1991 (H3)	6.1 (土)	"	"	134		岡崎龍興(醍醐寺住職)	如是我聞
12	1992 (H4)	5.30 (土)	"	"	94		細川節夫 (ライヴカンパニー社)	メンタルヘルスと 音楽療法
13	1993 (H5)	6.4 (金)	スクワール 麹町	"	114	(内工専70名)	生田目修(軍事評論家)	空から見た日本
14	1994 (H6)	6.4 (土)	東條会館	"	92		山本栄治 (経営コンサルタント)	人生は一・二・三
15	1995 (H7)	9.30 (土)	"	"	122		塚田勝夫(東京消防庁)	突発災害からの生還
16	1996 (H8)	9.28 (土)	"	"	151	(内工専83名)	幸道貞一 (元ハ木アンテナ)	マルチメディア ・インターネット時代
17	1997 (H9)	9.27 (土)	"	"	124	(内工専50名)	槌田 昭(元茨大教授)	ネパールにて想う事
18	1998 (H10)	9.26 (土)	"	渡辺益男	119	支部会報1号	黒木剛司郎(元茨大学長)	新制大学よ、どこへ行く
19	1999 (H11)	5.22 (土)	箱根芦ノ湖園	"	63	支部会報2号 創立60周年	宮田武雄(茨大学長) 難波靖治(元日産自動車)	近未来社会と大学 自動車の変遷
20	2000 (H12)	9.2 (土)	東條インペリ アルパレス	"	87	支部会報3号	木村哲人(音響技・講師)	映画・テレビ音の秘密
21	2001 (H13)	10.6 (土)	"	"	100	支部会報4号	秋山光庸(宇都宮大教授)	地域に根ざし世界に通じ る活動を求めて
22	2002 (H14)	10.19 (土)	"	"	78	支部会報5号	荒川宣夫(日本消防設備)	発展途上国への国際協力
23	2003 (H15)	10.25 (土)	"	"	67	(内工専15名) 支部会報6号	寺内賢一 (元NTT北京所長)	動く中国 (北京在住15年)
24	2004 (H16)	10.23 (土)	"	近江義勝	70	(内工専18名) 支部会報7号	持田幸武(元日産自動車)	自動車の色々な話
25	2005 (H17)	10.15 (土)	東天紅	"	69	(内工専14名) 支部会報8号	山崎慎一郎 (東京高専名誉教授)	地熱エネルギーの話
26	2006 (H18)	10.14 (土)	上野精養軒	"	65	(内工専15名) 支部会報9号	広瀬勇二(PFU顧問)	ライフサイクルマネジメ ントへの挑戦
27	2007 (H19)	10.13 (土)	"	"	81	(内工専12名) 支部会報10号	堤 裕 (多摩平成クリニック院長)	脳梗塞の実態と予防
28	2008 (H20)	10.11 (土)	"	"	83	(内工専15名) 支部会報11号	日置秀明(東芝主幹)	地球環境と原子力
29	2009 (H21)	10.17 (土)	"	"	95	(内工専13名) 支部会報12号	堀口正治 (元NIT研究所主幹研究員)	光ファイバ通信の現状と 今後の動向
30	2010 (H22)	10.16 (土)	"	三本木武		支部会報13号 支部創立30周年	五十嵐喜良 (19次、23次と2回にわたり、南極越冬隊員を勤めた)	オーロラの魅力

作表にあたり、本部事務長今村好男（昭41学機）氏、近江義勝（昭28学電）氏、溝口知昭（昭32学機）氏のご協力を戴きました。

# 東京支部 30 年の歩み

顧問 近江 義勝 (昭 28 学電)  
幹事長 広瀬 行一 (昭 38 学電)

以下の記述は筆者二人が当時を振り返りつつ、(記憶を思い起こしつつ)まとめたものですが、今は既に幽明界を異にされた先輩諸氏のお名前は斜体文字を使用して表示しています。そして氏名のあとに卒業年と専攻学科を括弧書き表示するのが通例ですが、ここではその学科の何回生という形の表示としています。

## 1、創立以前

東京支部の創立以前には工専の方々を中心に、専原 3 回の **東條重男**さんのご好意で、東條会館の一室を無償でお借りし、専精 2 回の **信沢清一**氏のマジック解説例会や囲碁同好会、又専金 1 回の **栗原照夫**氏幹事のゴルフ会など同窓生が散発的に集まって楽しんでおりました。

## 2、支部創立

昭和 55 年頃、専金 8 回の **林隆造**氏が大変情熱的に東京支部を結成しようと奔走され、専原 1 回の **林義雄**氏が支部長をしておられた埼玉支部と専精 1 回の **原田正夫**氏が支部長をしておられた千葉県支部の御支援を頂きました。そして専機 1 回の **石井善郎**氏を支部長に、専金 9 回の **藤村理人**氏を事務局長にお願いし、昭和 56 年に入って世話人として他に前述の東條重男氏と林隆造氏、専精 4 回の **渡辺益男**氏、専通 4 回の **岩下晃**氏、学電 1 回の **近江義勝**氏、学化 3 回の **高橋忠之**氏、学金 10 回の **滑川松男**氏のメンバーをお願いし、簡単な会則も定め、6 月 27 日第 1 回東京支部総会を立ち上げました。全国レベルですと千葉県、関西、埼玉、水戸勝田、静岡に次いで 6 番目でした。

当時の幹事は工専 13 名、大学 3 名の合計 16 名でした。

## 3、その後の歩み

第 1 回から昨年の第 29 回までの歩みは前ページ多賀工業会東京支部 年表のとおりです。この表を見ますと第 18 回 (平成 10 年) ぐらいまでは工専の方々の参加が多く、常に 100 名を超す参加者がありました。最も多かったのは、バブル時代の始まりの昭和 62 年、175 名の参加でした。参加の常連者が、70 歳を過ぎて、精神的にも肉体的にも、外出が困難になってしまった事と大学卒の若年層の参加者が増えていないことがその後の参加者減少の原因と思われ、現在の最大の課題として幹事一同頭を悩ましている処であります。因みに平成 21 年に工専の方々の参加は 13 名 (皆さん傘寿を超えたご高齢者) でしたがお元気なのが何よりでした。

同窓会は強制ではありませんし、何か切っ掛け

がないとどうしても出たいと思えるような魅力も無いかも知れません。

## 4、参加者増員対策のあれこれ

(1) そこで幹事数を増やしそれぞれの幹事が 2~3 名を勧誘すると 20~30 名を増やすことになると計算し、平成 6 年 4 月 5 日に昭和 16 年卒 (第 1 回卒) から 46 年卒の方々に集まって頂き、東條会館で昼食を共にしながら対策会議を開きました。その結果 34 名の方々に幹事になって頂きましたが、従来出席数には届きませんでした。この対策会議は費用も当時の状態では重い負担でしたので、翌年以降中止しました。

(2) **山本栄治 (昭 18 専機)** 氏より「幹事に女性を数名選んでは」とご意見をいただき、早速東京支部の女性に声をかけお願いしましたが、実現は仲々難しく、頓挫したまま今日に至りました。

(3) 又同窓生が多数就職している企業をリストアップし、有力な職位の方々をお願いして後輩に声を掛けて戴き、その年は予想通り盛況でしたが、次年度は元に戻ってしまいました。

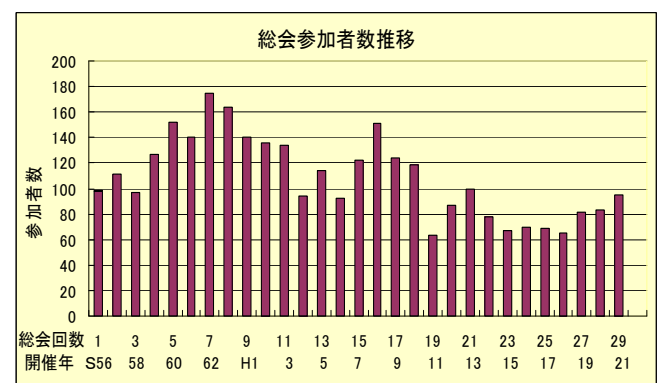
(4) 教授をお招きし、教え子に声を掛けて頂き 20~30 名位は馳せ参じると言う事も実現しましたが、長くは続きませんでした。

(5) やはり縦より横の繋がりが Better と思い 38 年卒の同窓会を総会当日にぶっつけて催してもらったところ、38 年卒だけで 24 名集まり、これぞ総会の玉手箱と思い幹事一同以後もこのスタイルにて行こうと努力し、やっと 100 名に近い総会参加者となりました。

(6) この他、総会のはがきも 3,000 枚発送したり、年度幹事の方々には電話攻勢をしてもらいました。現在は 1,300 枚のはがきで数年が過ぎました。その間 **溝口知昭 (昭 32 学機)** 氏 (現在埼玉支部所属) には並々ならぬご努力をいただきました。

同好会の活動も活発に行っています。現在は囲碁、ゴルフ、山遊会、写真、ダンスなどの会がありますが、これらの活動内容は別ページで報告されておりますのでご覧下さい。

今年は東京支部創立 30 周年に当たります。是非総会においでください。幹事一同心からお待ちしております。



# 本部会長からの祝辞

## 東京支部30周年記念祝辞

多賀工業会会長 木曾 正明 (昭29学電)

東京支部創立 30 周年誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。これまでに東京支部が多賀工業会に果たした功績を考えると、本当に頭の下がる思いがします。



私が多賀工業会の本部推薦日立近隣地区選出の理事に選出されたのが、昭和 56 年 6 月 17 日であり、その時の理事会が、東京の東條会館で開かれ、それに出席したのが多賀工業会との関りの始まりでした。それから 30 年が経過したわけですが、それ以前の東京同窓会の様子は分かりませんが、多分活発に活動され同窓会を支えておられたのではないかと思います。記録では多賀工業会の東京支部の設立はこの時に行われたようですが、工業会は昭和 20 年に発足し、初代理事長に春光先生が就任されており、65 年の歴史があります。また、地方支部の設立はすでに昭和 31 年に千葉支部が発足し、さらに関西、埼玉、水戸勝田、静岡の 5 支部が順次設立されていますので、東京は本部的な役割を担っていたのでしょうか。

工業会理事会は 3 年ごとに東條会館で開催され、私も出席しました。未だ若造で、先輩方の中で小さくなっていた覚えがあります。東京の先輩方のご尽力で多賀工業会の運営がなされていたと思います。当時、工業会の理事長は学内の卒業生の先生がなられ 9 代続いておりますが、大学が国立大学法人茨城大学に変わってから、先生方の日常の勤務が厳しくなり、競争原理が取り入れられた結果、先生方が同窓会の面倒を見る余裕がなくなり、平成 17 年の総会で会長制を執ることになりました。初代会長は工学部長を経験された寺門竜一先生が就任され、副会長は 2 期目に各地方の支部より 4 名が選出されました。私は日立総合支部の推薦で近隣支部の副会長になりました。その間、会長代理で東京支部を始め 7 支部の総会に出席させていただきました。そうしているうちに次期会長の選出の時期となり、本来であれば東京支部長の近江先輩がなるべきでありましたが、近隣支部の副会長から出すようにとの要請があり、私が 2 代目の会長に就任することになりました。経験、実力からみて誠に不適當ではありますが、精一杯

努めたいと思ってお引き受けしたわけであります。

今は、多賀工業会の役員は全部、学部卒となっていますが、初期には、ほとんど工専卒で東京支部の方々が工業会のお世話をされていたようで、その貢献は大変大きく、感謝を申し上げたいと思います。

現在、工業会は 14 の支部に支えられており、地方支部の働きは会報の発行、会員相互の連絡、共助、親睦であり、特に同好会が活動の大部分であるようで、写真、ゴルフ、山登り、囲碁等が共通の趣味で親睦に役立っております。東京支部の写真部はプロはだしでその作品の展示にはいつも感心させられます。各支部もそれぞれ特色を発揮して活動をしており頼もしいかぎりです。

従来、多賀工業会は工専、工学部の同窓会でありましたが、最近は茨城大学同窓会連合会の一員となり、また会長は、茨城大学社会連携事業会の理事や基盤強化委員会の委員として新しい地域連携とかかわりをもつようになり、その活動範囲が拡大されてまいりました。その役割は地域の教育力、環境形成、自治体との連携、産学官連携、学生の地域参画等で社会との架け橋の役割を担っています。また、財政基盤の充実のための施策を行っています。また学生の課外活動を支援助言して活発化に努力しています。

このように工業会の活動は、同窓生の親睦に限らず、大学全般にかかわりを持つようになり、さらに母校の発展に寄与できる体制が整ったのではないかと思います。最近の工学部の実績でも、全国の私、公立 700 大学のうち、産学官の交流、社会との連携で大変高い評価をされ上位 14 位に位置しています。母校が益々発展し質の高い学生が集まることを願っています。工業会がその一助になればと思っています。

私たち同窓生は同じ学び舎で学び、卒業後も同じような立場で就職して、同じような思いを共有しております。それゆえ、定年後も結束を強くしているわけであります。今後も工業会を大切にいただき、さらなるご協力をお願いいたします。

そのためにも是非東京支部の方々のご指導を戴きたいと思っております。

結びに多賀工業会東京支部のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして祝辞とさせていただきます。

## 創立 30 周年記念祝辞

茨城大学工学部長 神永 文人

多賀工業会東京支部の皆様におかれましては、各々の分野で益々ご活躍のことと拝察し、お喜び申し上げます。また、このたび東京支部が創立 30 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。



私は、東京支部が設立されたとほぼ同じ頃、昭和 53 年に茨城大学工学部機械工学第二学科に講師として赴任いたしました。それからの 10 年を振り返り現在と比較してみますと、学生や大学組織のすべてに於いて違いが大きいのは驚くばかりです。

ここ 30 年間での大学（工学部）における大きな出来事としては、平成 2 年に短大を廃止し工学部に夜間主コース（B コース）を設置、平成 5 年に博士課程を設置、平成 16 年の国立大学法人化が上げられると思います。この中で、最も大きな出来事は法人化と言っても過言ではないと思います。この場を借りまして、法人化後の大学（工学部）の状況を報告させていただきます。

平成 16 年度に法人化して以来、6 年を一期間として、その間の目標・計画をあらかじめ設定して、それに沿って大学の活動を行うようになりました。平成 22 年 3 月でちょうど 6 年が経過し、第 1 期中期目標期間が終了し、4 月からは第 2 期に入りました。平成 20 年度には、16 年から 19 年度までの 4 年間の目標の達成状況に関して、国による評価がありました。各評価項目に関して「良好である」あるいは「おおむね良好である」、工学部の教育・研究の達成状況は、一部「期待される水準を上回る」との評価を受けましたが、おおかたは「期待される水準にある」でした。各学部を総合した茨城大学の評価結果は、新聞等で公表されましたので、皆さんご承知のことと思います。小さな得点幅に多くの大学が位置する状況で、相対的な順位は残念ながら予想したより低く、もう少し評価点を高くしなくてはと反省しているところです。現在は、平成 20 年と 21 年度の活動成果を実績報告書にまとめている段階で、この 2 年間の実績を加味して、第 1 期の最終評価が行われる予定

です。この 4 月から始まった第 2 期においては、第 1 期の反省もふまえて精選し、より明確な目標・目的を設定し、活動を開始したところです。

大学での教育も旧来と大きく異なってきています。昨今、大学進学者が 50% を越えるようになり、大学教育が大衆化しています。旧来は、「学科でカリキュラムを作るものの、実施は各教員におまかせ」という傾向が強かったと思いますが、現在では、組織的・体系的教育が不可欠で、教育目標を明確にするとともに、教育の質の保証を確保していくことが求められています。工学部では、教育方針とその実施内容が十分であるかを教育組織単位（学科）ごとに外部から評価してもらうため、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けることを決めており、すでに 2 つの学科（機械工学科と都市システム工学科）ではその認定を受けており、今年度は電気電子工学科が受審を、他の学科も今後順次認定の審査を受ける予定です。昨今の大企業の採用状況を見ますと、修士修了が工学系では一般的になっており、本工学部でも大学院進学率が 50% 程度になっています。今後とも進学者の増加を図るとともに、大学院における教育を、これまでのように研究だけに偏らず、社会で広く活躍できる人材育成をめざして、教育の質を確保するとともに時代に即した教育内容となるよう、組織の改組も含めて見直し作業を行っています。

以上のように、旧来に比べ教育にかなりの時間と努力を払っていますが、工学部（茨城大学だけでなく全国の）にとって最大の問題は、社会（特に中学生・高校生）の理系離れです。その中でも、工学離れは深刻です。最近では、景気の低迷もあり少し持ち直してきたとの情報もありますが、近い将来 18 歳人口の減少に伴って、本工学部で定員が充足できないことも危惧されています。その対策として、様々な機会でご報告活動の充実を図っていますが、残念ながら即効薬は見あたりません。やはり、技術者への処遇を含めた社会的地位の向上も必要ではないかと思っています。

以上、スペースの関係で大学の現状の一部しかご紹介できませんでしたが、その他の活動については別の機会にご紹介させていただきたいと考えております。今後とも多賀工業会会員の皆様とは強い協力関係を継続して参りたいと考えておりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、東京支部の益々の発展を祈念致します。

# 大先輩からの祝辞等

## 設立 30 周年 おめでとう

山本 栄治 (昭 18 専機)

社会に出てからは、何事も“お役に立つ”を目指して仕事を続けられたのは人脈のお陰である。企業の経歴は三菱重工業名古屋発動機を戦後処理の数ヶ月で希望退職 (24 歳)。

その後三菱製紙では 22 年間勤めた処でスカウトされ (44 歳)、金羊社 (レコードジャケット製作日本一) で専務取締役を果たし (54 歳)、念願の経営カウンセラー (含む人生相談) を始めた。

どの企業共、定年 10 年前に退社したのは“生涯現役”を貫く為でした。人の道には科学×芸術×宗教が混然となっていることに気付き、その上に女性心理が



加味されると、経営の根本になることを学び感激。

一次欲求の性欲・食欲・集団欲は本能であるが、二次欲求中の合理化 (ムダ・ムラ・ムリの排除) と好奇心、臍原を 3 本の柱にして来たことで、世の為人の為、挑戦のエネルギー、それに自利利他などが体得出来た次第。

人生相談に於いてはその人の潜在能力の開発に力を注ぎ、個性 (人生観・価値観・存在感) の探求で十人十色が確認出来て感動。

一方、トップの方に申し上げているのは、不易流行。温故知新・臨機応変を熟知すれば、如何なる時代でも、或いはピンチを招いても解決できる点を強調。多くの方々との問答でホンネとタテマエが成功の分岐点になる例を沢山持ち合わせるが、タテマエの人には、愛情・自我・攻撃・逃避・適応・成就の心構えをそっとお届けしたい。ホンネには愛・正義・勇気が鼓動して微笑を絶やさぬ魅力がある。4 月で米寿を迎えた。

## 多賀工業会発足当時の思い出

柳田 裕美 (昭 19 専精)

戦争の最中に卒業して、何時の間にか 65 年余の星霜を送りました。同窓会の皆様との心温かいお付き合いを持てたからです。余生は豊に過ごしております。御礼申し上げます。

さて、発足当時の会の状況を書いて欲しいと依頼を受けたのですが、私にとっては遠い昔、記録・記憶ともに臍でご期待に添えますか、甚だ不安なのですが、書き続けます。下記、お読み下されば幸甚です。



### 記

- 1) 戦後昭和 28 年、私達の同窓会は新しく名称を多賀工業会と決定しました。初代理事長に故春日光雄氏 (昭 18 専原) が就任されました。
- 2) 会場は、都千代田区半蔵門の結婚式場も兼備えた東條会館の一室、理事長と同級生で社長である故東條重男氏 (昭 18 専原) (旧姓高木氏) のご好意によって、毎土曜日使用出来るように準備され、朝鮮事変の特需の影響で経済の好転もあり、忘年会・新年会には三・四十名の参加がありました。
- 3) 工専時代の松原教授・長元教授の講演会などもおこなわれましたが、学生当時を思い出して、とても懐かしく思った記憶があります。
- 4) 難波靖治氏 (昭 23 専機) の F 1 レースの講演は臨場感ありで興奮した。
- 5) アトラクション 1 : マギー信澤 (故信澤清一氏 (昭 17 専精) の手品、手品の種を譲り受けて、私も家や合等で真似、喝采を受けて悦に入りました。テレビ等で活躍しているマギー史郎は直弟子でその話し方・仕草は氏の譲り受けそのものです、尚奇しくも戦時中の就職先、田中航空計器 (株) では私の上司であ

りました。

6) アトラクション 2 : 会場舞台上で女性のショーを開催しました (誰かが鬼怒川温泉から温泉芸者さんと呼んだ) がそれは全員ノーでした。東條さんからお叱りを受け、心から謹慎しました。

7) 閉会後はいつも、1F の談話室で二次会。アルコールが入ったの懇親会で 1 期～4 期生が多かったと思います。談笑に花が咲いて時を忘れ、三次会で新橋・新宿へ繰り出す連中が多かった良き時代でした。

### 追記

#### 1) 工業会支部設立の過程

千葉県支部：原田正夫氏 (昭 16 専精) 主導で始めて工業会支部が設立された、

設立年月日：昭和 31 年 2 月 5 日

原田さんは Mr クラス会と呼び名されて誰からも尊敬を受け、クラス会の発展に貢献されて居られました。

#### 2) 東京支部設立の過程

故渡辺益男氏 (昭 19 専精) 他有志の方々故石井善郎氏 (昭 16 専機) を支部長に推薦して六番目の地方支部を設立した。

設立年月日：昭和 56 年 6 月 27 日

渡辺氏は 2 期目の支部長を務め多賀工業会・支部の発展に極めて多大な貢献をされた。惜しくも平成 18 年 2 月 26 日他界してしまいましたが、私にとっては工専以来の無二の友達でありました。ご冥福を心より祈ります。私事に及んで申し訳ありません。

忘れ行く遠い過去を書いてきました。保身・私欲に溺れた無能軍閥・高官による悲惨極まりない戦い、結果敗戦。そして焦土と貧困だけが残された財産でした。工業会の歴史は技能開発・経済発展への弛まぬ努力史であると思います。余生が私の残された財産です。ある支部長が言うておりました。ナーニ、人集めなんて簡単だよ、理屈なんていらねえよ、楽しけりゃーみんな来るよって。工業会の発展を願い、終わります。愉快にやっつけよう。



## 支部懇親会での思い

東 學 (平 08 院生)

東京支部創立 30 周年おめでとうございます。  
30 年前といえば私は 50 歳、現役終盤ながらまだまだ日本の産業界牽引に励んでおりました。その後の 30 年の後半、ある想いもあって伝統ある茨大大学院に学び、今はお蔭様で栄えある工業会にも参加しております。今年は「傘壽」を迎えますが、まだ元気に環境保全施策業務に関与しております。これからも白髪の老体が卒業年度の「最若組卒テーブル」の一席を戴きますので宜しくお願い致します。

## 30 年間の技術変化

秋山 英樹 (平 04 学情)

東京支部創立 30 周年おめでとうございます。  
30 年前といえばまだ中学生になったばかりで、現在就いているソフトウェア開発を選ぶとは夢にも思っていませんでした。当時はパソコンも無かった時代ですから当然かもしれません。今ではテレビも車もソフトウェアの塊となってきて、製造業として重要な役割を担っています。自社でも最近分散していたソフト部隊を統合し、その取りまとめ役を任命されました。单身つくばに引越し多忙な毎日が続いていますが、一人暮らしは学生時代以来なので気持ちは少し若返っている気がします。定年まであと十数年、健康に気をつけて頑張りたいと思います。

## 新旧30年の想い

二川 克美 (昭 63 院情)

東京支部創立30周年おめでとうございます。30年間積み重ねてきた皆様のご尽力に感銘しております。30年前の私はひたちなか市の高校生でした。まだ時間が無限にあると思ひ込み、時間の価値を理解せず無駄な時間を過ごしていました。年を重ねるにつれ、限りある時間の中で夢を追い求める方が、密度の濃い人生を送ることができると思うようになりました。一級建築士であり、デザイナーである妻と出会い、彼女の努力に私も触発され、今更ではありますが新たな分野にチャレンジしようと志を持ち始めたところです。多くの先輩方と接していると、今からでも夢を追いかけることができると勇気づけられます。これから30年いままで以上に密度の濃い人生を送れるように励みたいと思います。

## 30 年前を振り返る

松田 秀雄 (49 院子)

東京支部創立 30 周年おめでとうございます。  
諸先輩方の歴史の重みを感じます。30 年前の小生は、入社 7 年目、結婚して 2 年目、長女 1 歳でした。パワー半導体デバイスの応用技術担当から製品開発担当に変わって 2 年目でもありました。直流送電で北海道から沖縄まで電力網を構築する、そのために絶縁性と耐ノイズ性にすぐれた光トリガサイリスタが必要とのことで開発に没頭しておりました。大学にも、その後リクルート活動開始まで、疎遠になりかけておりました。今はパワーデバイスを使う立場にあります。最近先輩からお声をかけていただき支部大会等に参加させていただくようになりました。これからも参加させていただこうと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

## 雑感

五十嵐 喜良 (昭 47 学子)

30周年おめでとうございます。  
30年前を振り返ると、私にとって、多賀工業会は遠い存在でした。昨年、支部総会に参加し、諸先輩や同窓生と交流する機会を得て、少し身近に感じられるようになりました。30数年勤めた元の職場を退職し、第2の職場で働いている現在、時間のゆとりがでてきたこともあり、支部の皆様との交流の機会を良い刺激として、これからの生活を楽しみつつも創造的に過していければ良いかなと思ひ始めた今日この頃です。

## 支部創立 30 周年を祝して

栗原 功幸 (昭 46 学子)

多賀工業会東京支部創立 30 周年おめでとうございます。

この間、職場は、電電公社→NTT→NTT ドコモ→大明→大明ネクスト、住所は、横須賀→世田谷→狛江、家族は、長女誕生、長男誕生、現在 4 人同居中、趣味は、トライアスロン、旅行、読書となり、あと数年でリタイアの予定です。最近、茨大レーザ研同窓会、電子卒同期会、高校（水戸一高）、中学（茨城県金砂郷村）同期会など会合が増え、昔の懐かしさに惹かれて出席しています。これからいろいろ体験し、残りの人生を楽しむつもりです。いつも情報提供ありがとうございます。今後とも楽しみにしています。



## 30年前には・・・

藤枝 伸一（昭 45 学子）

東京支部創設 30 周年、誠におめでとうござい  
ます。永きに渡り地道に成果を挙げてこられた先  
輩諸氏のご努力に敬意を表します。30 年前といえ  
ば会社生活真只中。私の二人目の子供が産まれた  
年。長男の喘息が酷く、入退院の繰り返しで学校  
には半分も行けない状況が続いていました。

今はアレルギー疾患と言いますが、当時は母源  
病と言われて家内が相当痛めつけられた時代でし  
た。今では二人とも元気に私の生計から自立して  
いき、一安心なのですが還暦を越えて、なお悠々  
自適とは程遠い人生。人生の潤いを求めて、芸術  
への思慕を深くしている今日この頃です。  
今後とも諸先輩とのご厚誼をお願い申し上げます。

## 同じ釜の飯を食った仲間意識

三好 成實（昭 39 学機）

「人間 50 年、下天のうちをくらぶれば」とは  
幸若の一節。今まで 50 年という区切りにあまり  
意味があるとは思っていなかった。だがふと考え  
てみると私も大学卒業以来そろそろ 50 年を迎え  
る。月日の流れるのは早いものである。

今でも親しく付き合っている友人には、社会に  
出て会社などで知り合った友人と学生時代からの  
友人とがいるが、その付き合い方というか接し方  
が微妙にちがう。いまだにザックバランさという  
点では学生時代の友人とは気楽である。いい年寄  
りが乱暴な「お前、俺」など遠慮のない口のきき  
かたができるのも寮で同じ釜の飯を食った仲間意  
識がそうさせるのかもしれない。

## この 30 年間してきたこと、

### これからすること

駒場 方耀（昭 38 学機）

昭和 38 年（1963 年）3 月、新入社員 150 名の  
一人として長崎に配属されたのは 47 年も前のこ  
とです。以来この 30 年間、4 回職種を変えました。  
入社後の 9 年間は「大型火力発電所の詳細設  
計」、次は本社に 400 名の技術者が集められ「輸  
出を含む大型火力発電所の受注および基本設計」  
を 20 年、3 回目は「石炭燃料加工工場」への出  
向し保守業務を 10 年間、4 回目が「産業用廃棄物  
燃焼発電設備の建設、保守」を 5 年半。どの職場  
でも仕事仲間に恵まれ充実した時間を過ごし、現  
役を終えることができました。

多賀工業会東京支部との付き合いは 2 回目の職

場以降今日まで 30 年以上であり、特にこの数年  
益々深く付き合をしております。これからは残る  
人生を味わいながら、微力ではありますが同窓会  
の活性化に尽力したいと考えています。

## 思い出

高野 久弘（昭 35 学機）

私は卒業と同時に富士通信機製造(株)（後の富士  
通）に入社しました。今から 30 年を振り返って  
印象に残ることのひとつに 45 才研修，通称‘F I  
M A T’があります。これは昭和 53 年、当時の小  
林大祐社長の強い決断により、45 才になる事務と  
技術職（含部長）を対象に 3 か月間、実務を強制的  
に止めて教育に専念させました。この研修は、  
経営手法、部門研修、役員懇談会、一般教養の 4  
本柱で構成され、法務、経理、技術関係は社内の  
専門家が講師でした。教養関係は、3 時間程度づ  
つ、東大、早大、慶応大などの教授を招き、西洋  
史、演劇論、文学論、絵画史、などなど。その後  
社員は 4 万名を超え、社会情勢の変化もあり、平  
成になって取りやめました。

## 17 年ぶりの再会

菊地 玲二（昭 26 専通）

話は昭和 45 年秋の事です。渡辺貢（昭 26 専原）  
君との話です。卒業後、彼は東京消防庁に、私は  
電電公社東京通信局に就職し、いつの間にかお互  
いに疎遠になりました。時はたち 17 年後、事故  
が起こりました。大手町の KDD ビルに、電電の  
マンホールから大量の水が流れ込み KDD の配線  
盤が水浸しになり、消防車が水を汲み上げ排水し  
ましたが、一向に水は減らず何処からか水が沸い  
て出てきます、そのうち地下鉄大手町駅の変電所  
にも漏水し始め、事態は最悪の方向にすすみ、マ  
ンホールの周りには電気、ガス、地下鉄の関係者  
が対応すべく集まりました。それ以外にも野次  
馬？がワイワイガヤガヤ。その時マンホールの中  
では消防署の指揮官が水の涌き口、状況を調査し  
ていました。状況は改善される余地はなく、見か  
ねて地下鉄の職員が「地下鉄の変電所に水が入る  
と事故になる。早く水を止めろ」と指揮官に訴え  
ました。この非常事態に私も電電側で状況把握と  
現場処置をしていましたが、指揮官が、集まった  
対策者の中の私の声を聞きつけマンホールの縁か  
ら顔を上げ「オオ菊地じゃないか、渡辺だよ」と  
突然声をかけ、続けて「水道水だよ」と告げられ  
ました。渡辺君からのとっさの情報は状況把握と  
判断に役に立ったことは言うまでもありません。

# 東京支部の活動方針

支部長 三本木 武 (昭 30 学金)

昨年 10 月の第 29 回東京支部総会において近江義勝支部長の後任として私が支部長に選任されました。甚だ微力ではありますが東京支部発展のために全力を尽くしたいと思っております。会員の皆様には物心両面にわたり特段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



近江支部長には東京支部の設立から現在まで約 30 年の長きにわたり、支部の発展のために多大の貢献をされましたことに対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

ご承知の通り東京支部は多賀工業会の第 6 番目の支部として昭和 56 年 6 月 27 日東京千代田区半蔵門の東條会館[社長・故東條重男 (昭 18 専原) 氏]に約 100 名の同窓会員を集めて設立総会を行い、今年で 30 周年という節目の年を迎えます。これを記念して第 13 号会報を「東京支部創立 30 周年記念号」とし増ページして発行することといたしました。

東京支部が設立されてから現在に至るまでの経緯については、多賀工業会木曾会長の「東京支部 30 周年記念祝辞」および近江前支部長の「東京支部 30 年の歩み」などに述べられておりますのでここでは省略いたします。

## 支部の活動方針

一般に高校や大学 (大学院) の同窓会は、どこの同窓会も同じだろうと思いますが、同期会 (クラス会) や同好会 (趣味の会) には出席しても、同窓会には余り出席したがる暇ばかりか出席する人は高齢者 (60 歳以上) で若年層は非常に少ないと悩んでいるのが現状です。このような傾向は東京支部においても例外ではありません。

東京支部として取り組んで行くべき問題は沢山ありますが、今年は次の 2 つの問題を支部の活動方針として取り上げ、どの程度増やせるかを検証してみたいと思っております。

- 1、総会の出席者を 100 名以上維持すること
- 2、年会費納入者を 300 名以上に増やすこと

### (1) 総会出席者を増やすには

総会は支部にとって年 1 回の最大イベントですからできる限り大勢の同窓会員を集めることだと思います。そのためには会員に魅力を喚起させる講演会を開いて先輩や後輩は勿論のこと「仲間 (同

期生) に会える」場を提供し、会員相互の情報交換ができ充分親睦も図れる会だという印象を会員の皆さんに持っていただき、また来年も来ようという気持ちになってもらうこととあります。

特に講演会を魅力のある内容にするため今まで講師は原則的に若手同窓生としてきたことから、どうしても内容が専門的すぎる傾向にありました。そこでこれからは同窓生以外の講師に話題性のあるテーマ (健康医療、趣味、技術一例・ipad 等) を取り上げ、平易に講演してもらえようような努力もして行くべきだろうと思っております。

また懇親会にはミニ同期会 (10 人内外のクラス会) を積極的に組み入れてやれるようにして行くべきだと思います。

今まで支部会報に女性会員の執筆した原稿を掲載したことがありますが、支部総会には未だ女性会員が出席したことはありません。然し、そろそろ女性会員に総会出席を考えて貰う時が到来したと思うので、幹事長に検討をお願いした所です。

### (2) 年会費納入者を増やすには

支部の活動源は、年会費の納入状況に左右されるといっても過言ではありません。会員に対しては常に会報とホームページで支部の活動内容をお知らせしております。特に貴重な年会費を戴いている年会費納入者には、何がしかのお返しをしなければならぬという考えで、年 1 回「会報」を発行して配送し、会員との絆を繋いでおります。

また会報には支部総会をはじめ講演会や懇親会の内容、各同好会の活動内容、会員の活躍状況、年会費納入者一覧などが掲載されているので、この「会報」を「支部会員への勧誘品」として今まで会報を配送していない会員および若手会員をターゲットに発送し、新規会員の発掘を図りたいと考えております。

支部活動を活性化させている同好会は、会員同士が気楽に参加し易いということもあって会員の増強も図り易いと思っております。そこで同好会の活動に参加した会員には支部活動を理解していただき年会費納入のお願いが出来れば幸いです。

また一部同好会は近隣支部 (千葉県支部、埼玉支部) と相互乗り入れし、共同開催することによって同好会が盛大かつ実りあるものとなり、同好会員が相互に連携して協力する姿勢は誠に喜ばしいことです。

今後とも近隣支部と同好会レベルでの共同開催を積極的に推進し、支部交流を更に活発化して行きたいと考えております。

☆☆☆

支部の活性化には、若手会員の参画が必須で、魅力ある活動に変革するためにはどうしたらよいか? 会員の皆様も色々ご意見をお持ちのことと思いますので是非ご意見を事務局までお寄せ下さい。

# 第 29 回東京支部総会報告

総会司会者 青野 潔 (昭 41 学化)

東京支部総会は、10月17日(土)15時から19時まで、上野精養軒で開催されました。本部会長の木曾正明(昭29学電)氏をはじめ、水戸勝田、仙台、栃木県、埼玉、千葉県、静岡、中部、日立綜合の各支部代表の方々をご来賓にお迎えし、出席者総数95名となりました。ご来賓の方々には遠路はるばるのご出席、誠に有難うございました。

## 第 1 部 総会 (15 時～16 時)

開会の辞、近江義勝(昭28学電)支部長挨拶、本部の木曾会長の来賓祝辞に続いて年間行事、同好会活動報告および会計報告等が行われてから、支部長の改選が行われ、三本木 武(昭30学金)氏が新支部長に選任されました。前支部長挨拶と出席者リストは次頁に掲載。

## 第 2 部 講演会 (16 時 10 分～17 時)

元NTT研究所主幹研究員 堀口正治(昭46院子)氏による演題「光ファイバ通信の現状と今後の動向」という講演が行われました。光ファイバ母材製造技術の開発、室温連続発光の半導体レーザーの開発など、今日までの光ファイバ通信の発展が紹介されました。また、高齢者のインターネットの活用法などの紹介がありました。

## 第 3 部 懇親会 (17 時 10 分～19 時)

地下講演会場(ホール銀杏)から、二階の宴会場に席を移動して開催されました。卒業年度の近い人々ごとにテーブルを囲み、また、先輩・後輩の垣根を取り払い大いに飲み、語り合いの場を持つことが出来ました。

## 写真展

恒例の写真部提供による写真展が会場壁面で行われ、そのレベルの高さに多くの参加者の賞賛を得ました。出展リストは14ページに掲載。



# 前支部長の交替挨拶

前支部長 近江義勝（昭28学電）

本日は公私共お忙しい処、本部より木曾会長を始め、北は仙台、西は名古屋の中部支部の幹事諸兄のご出席を頂き、有難く厚く御礼申し上げます。今年はずし振りに100名を越える総会になりました。総会に先立ち本年不幸にして他界されました先輩、同窓諸兄に黙祷を捧げたいと思います。（黙祷）

第27回総会時には38年卒幹事諸兄のご努力による同期会呼びかけで多数の参加があり、引き続き今年も41年卒の幹事が呼びかけて100名を越える事が出来ました。このような制度を定着させる方法がベターかと思っております。本年の参加比率は工専関係：18%、学28～40年：54%、学41年以降：28%となりました。

私事になりますが、東京支部創立（昭56年6月27日）以来微力ではございますが、幹事長を、又渡辺前支部長の後任として今日まで約32年間



務めました。去る8月の幹事会で次期支部長に三本木 武幹事長（昭30金）が適任として承認されました。東京支部規約により、本総会でご賛同頂きたくご提案いたしますので何卒宜しく御願い申し上げます。長い間、ご支援ご協力、誠に有難うございました。

## 総会出席者：（敬称略）

<来賓> 9名

木曾 正明 本部 会長（昭29学電）  
大和田武義 千葉県支部 支部長（昭32学電）  
佐川 六郎 埼玉支部 副支部長（昭39学機）  
小室 敏之 水戸勝田支部副支部長（昭30学機）  
寒風澤 武 静岡支部 支部長（昭41学機）

杉山 恵一 栃木県支部 幹事長（昭40学化）  
金田 万庫 仙台支部 幹事長（昭44学電）  
根本 弘 中部支部 幹事長（昭38学金）  
磯崎 公郎 日立綜合支部 支部長（昭34学原）

<会員> 86名（91名の予定の内、当日5名の急な欠席が生じました）

依田 連平（昭17専金）	山崎 慎一郎（昭31学原）	大塚 進（昭38学化）	菅谷 禎男（昭42学機）
菅原 庄一（昭18専機）	矢野 睦男（昭32学原）	小田倉 勝夫（昭38学化）	橋本 弘道（昭43学電）
山田 実（昭18専金）	榊原 康夫（昭32学原）	白石 道彦（昭38学化）	小澤 茂（昭43学子）
朽本 二郎（昭19専原）	田崎 耕八（昭32学電）	高木 二郎（昭38学化）	川野輪 滋美（昭43学子）
藤田 勲（昭19専原）	粕谷 宏夫（昭34学原）	磯部 亮（昭38学精）	大武 国男（昭43学子）
柳田 裕美（昭19専精）	高野 久弘（昭35学機）	矢嶋 國男（昭38学精）	袴塚 邦彦（昭43学子）
友保 伊弘（昭20専原）	上月 秀俊（昭36学機）	三好 成實（昭39学機）	石川 久（昭44学子）
田島 廣一（昭20専精）	小宅 仁（昭36学電）	原 俊彦（昭39学電）	笹島 晃（昭44学子）
明石 和夫（昭22専金）	宮沢 信夫（昭37学機）	吉田 宗昭（昭39学精）	萩原 春嬉（昭44学子）
幸道 貞一（昭22専通）	阿部 徳治（昭37学化）	高橋 勇次（昭40学化）	藤枝 伸一（昭45学子）
飯島 公正（昭23専原）	河上 弘一（昭38学機）	田中 栄太郎（昭40学化）	飯塚 英一（昭46学電）
斉田 耕平（昭23教電）	小林 一（昭38学機）	森 俊和（昭40学化）	栗原 功幸（昭46学子）
菊地 玲二（昭26専通）	駒場 方耀（昭38学機）	大泉 雅靖（昭40学精）	堀口 正治（昭46院子）
高田 丈夫（昭28学機）	長谷川 幸夫（昭38学機）	青野 潔（昭41学化）	五十嵐 喜良（昭47学子）
柳沢 裕（昭28学原）	徳江 景英（昭38学機）	小谷野 英勝（昭41学化）	鈴木 幹夫（昭48院子）
近江 義勝（昭28学電）	兼子 八郎（昭38学電）	小沼 淳志（昭41学化）	松田 秀雄（昭49院子）
玉川 信二（昭28学電）	小林 渡（昭38学電）	石井 良樹（昭41学化）	東 學（平08院子）
照沼 清（昭29学金）	田川 政行（昭38学電）	小林 紘（昭41学化）	
成井 浩（昭30学原）	熊谷 文男（昭38学電）	鈴木 俊夫（昭41学化）	
石川 英二（昭30学原）	高萩 隆司（昭38学電）	矢島 勝司（昭41学化）	
鈴木 日出男（昭30学原）	寺内 賢一（昭38学電）	橋川 隆夫（昭41学化）	
三本木 武（昭30学金）	広瀬 行一（昭38学電）	古川 征治（昭41学化）	
瀬在 城雄（昭31学原）	海老原 雄二（昭38学金）	高橋 徹男（昭41学精）	

# 講演会概要

報告者 石川 久 (昭 44 学子)

演題：光ファイバ通信の現状と今後の動向

講師：堀口正治 (昭 44 学子、昭 46 院子) 氏

茨城工業高等専門学校 非常勤講師

元 NTT 光エレクトロニクス研究所主幹研究員  
工学博士

趣味 旅行、写真、ゴルフ、将棋

## 1. はじめに

講師はNTT光通信研究所で、約30年間にわたり光ファイバの研究に没頭され、現用の光通信技術である長波長帯における光ファイバの開発に貢献されました。氏の研究論文は国内外合わせて100編以上におよび世界中の光ファイバ技術者の論文に多数引用されています。氏はかなり遠慮がちに話していましたが、オックスフォード出版の光ファイバの歴史書(City of Light)にも、氏の業績が顔写真入りで十数ページにわたって紹介されています。第29回多賀工業会の東京支部の講演会として、氏の講演は格調高くかつ聴衆をひきつけるものがあつたと思っています。

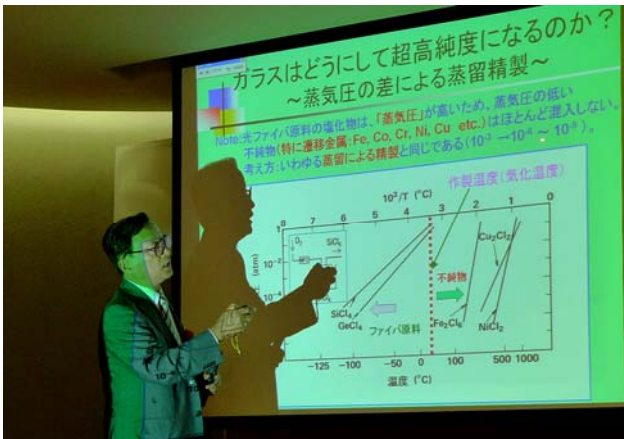


図1 講演風景

## 2. 講演の概要

### 2.1 光通信技術のターニングポイント

ルビーレーザーの発明の発明にはじまり、光ファイバ伝送の低損失化に関する研究（例えば、不純物除去を迫及する研究、長波長帯低損失光

ファイバの開拓など）、OVD法やMCVD法による光ファイバ母材製造技術の開発、室温連続発信の半導体レーザーの開発など、今日までの光ファイバ通信の発展が紹介されました。

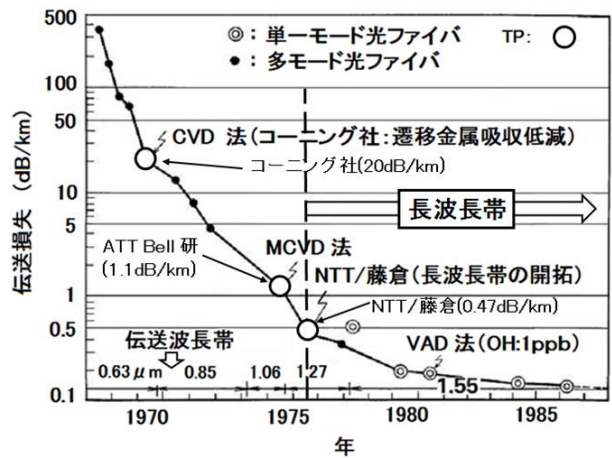


図2 光ファイバ伝送損失低減の歴史年表 (20年に渡る熾烈なる低損失化競争)

### 2.2 光ファイバ伝送における長波長帯の開拓

講師がNTTに在職中に研究参画した「光ファイバケーブル技術」に関する共同研究遂行の中で、光ファイバに最終的に残された吸収損失要因であった水分(OH基)の汚染原因を突き止め、徹底的にそれら除去したファイバを研究開発するとともに、光ファイバの伝送損失を極めて広範囲な波長領域(波長0.4~2.5 $\mu\text{m}$ )で精密に計測できる光損失自動測定技術を開発しました。

その結果、講師等は石英系光ファイバに固有の極低損失波長帯が「長波長帯」(波長1.1~1.7 $\mu\text{m}$ )に存在することを解明し、同波長帯を利用する光ファイバ通信技術を世界に向けて発信しました。これらの発見は、0.8 $\mu\text{m}$ 帯(短波長帯)が光ファイバ通信に最適の波長帯であるという従来の概念を大きく変えることとなり、国内外に対して長波長帯用光源の開発をはじめ、光伝送方式の研究に多大の刺激を与えその後の光通信技術の中核技術となしました。現在世界中で実用化が進められている光ファイバ通信技術にこの「長波長帯」が使われていることが紹介

されました。

## 2.1 趣味を楽しむ

研究の合間に、写真撮影に興味を持ち、退職後世界遺産探訪の旅と写真撮影を夫婦で楽しんでおられる写真の紹介がありました。

## 2.2 最近の技術動向と今後の課題

FTTH (Fiber To The Home)、フォトニックネットワーク、通信と放送法の改正(2011年)、NGN (Next Generation Network) 構想、公衆通信とインターネットの融合、光通信と無線の関係、デジタルデバイド、ユビキタス社会など、光ファイバ通信とインターネットにかかわるトピックスについて、素人にも分かりやすく説明いただきました。そして、特に50歳以上になるとインターネット利用率が低くなる事をデータで示され、愕然としました。

NOTE: インターネット利用の年齢別格差是正が必要

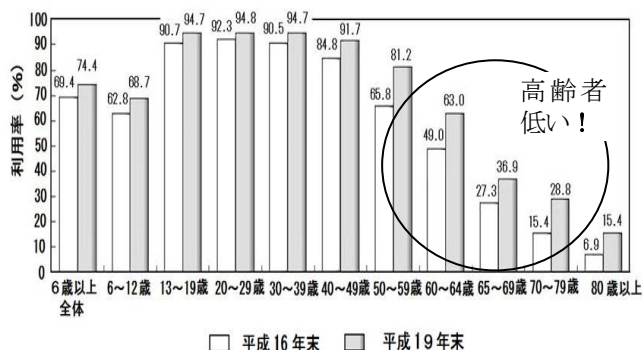


図3 年齢別インターネット利用状況

## 2.5 むすび

光ファイバ通信の発展に伴い、ブロードバンド通信が低価格で手に入る時代になりました。われら世代は現役引退後の「“黄金の30年”をどう過ごすべきか?」、「これからの趣味と生きがいとは何か?」、「脳内活性化の手法は?」、「インターネット活用法は?」などについて講師の日頃の悩みと実践法を聞かせていただきました。

## インターネット利用で、今後の人生を2倍楽しくする

：  
老化防止対策

1. 最高性能のPCを、臆せず使いこなそう。  
=> 身近なお孫さんには、  
高性能PCをプレゼント。
2. WEBの利用は「高度な社会参画」であり、  
老化防止対策
3. なんでも興味を持ち徹底的に、  
「ミーハー」になろう。
4. 情報収集の達人になろう。  
=> 趣味の上達は、2~3倍速くなる  
・買い物は、人より2~3割安くゲット
5. とにかく、インターネットは  
有用な情報宝庫である。  
・ただし、PCのセキュリティ対策を万全に

図4 講師からの提言

## 3. 質疑応答

身近なる提言が講演後半に講師からなされたので、通信会社の競争について、とか、高性能PCについてとか質問が出されました。出席者の皆様は聞きたい質問が沢山あったようですが、十分に質疑応答の時間がとれず申し訳なかったと反省しています。



図5 玉川信二(昭28学電)氏の質問

## 総会写真展出展作品一覧

氏名	卒年・科	題名	撮影場所	備考
菊地 玲二	昭26 専通	紅葉	土浦市	
斎田 和夫	昭28 学機	工事最終日	静岡市内	第59回埼玉県美術展 知事賞受賞
		田園の一時	ベトナム	第26回埼玉写真サロン展招待作品
玉川 信二	昭28 学電	猫も信心	世田谷・浄真寺	私の趣味の一環として
		悟り(五百羅漢)	世田谷観音	江戸時代都指定文化財
鈴木 日出男	昭30 学原	山麓の道	ネパール	第59回埼玉県美術展 入選
山崎 慎一郎	昭31 学原	夜明け前	いわき市・自宅	
		作り顔 (フラガール)	いわき市・スパリゾートハワイアンズ	
瀬在 城雄	昭31 学原	桜とカラス	井の頭公園	
		雨中の紅葉	黒部立山アルペンルート	
田崎 耕八	昭32 学電	鏡池に映る槍ヶ岳	鏡平	日本百名山全座完登記念
		鏡池に映る穂高連峰	鏡平	同上
		ダイヤモンド槍ヶ岳	笠ヶ岳	同上
		朝日に光る稚児車	野口五郎小屋	同上
		夕陽に映える槍ヶ岳	三俣山荘	同上
		日本百名山全座登頂	水晶岳	同上
小林 渡	昭38 学電	アドリア海の宝石	クロアチア・ドヴロクニク	
		内戦の傷跡	ボスニア・ヘルツェゴビナ・	
		内戦の悲劇	モスタル	
		波 紋	横浜市・和泉川	全写連神奈川県本部7月度例会 優秀賞
三好 成實	昭39 学機	夜の噴水	ドイツ・フランクフルト	
		干潟の朧月	神奈川県・平塚市	
高橋 伸二	昭41 学機	ふっ飛ぶ (牛の角突き)	新潟県・小千谷市	
石川 久	昭44 学子	暁 月	ハワイ・ホノルル	旅行記念
		灯 台		
堀口 正治	昭44 学子	日向ぼっこ	茨城県・那珂市	第9回「北関東を撮る」写真サロン準特選
		暁の飛翔	エジプト・ナイル川	第41回カラーフェア優秀賞(ケンコー賞)
五十嵐 喜良	昭47 学子	昭和基地とオーロラ	南極昭和基地	
		新年を祝う	南極昭和基地・豆島	
		電波を使ったオーロラ観測	南極昭和基地 ・電離層観測棟	
		ウェデルアザラシの親子	南極昭和基地・海水上	
		アデリーペンギンの散歩	南極昭和基地・海水上	



平成21年度東京支部会計報告

収入の部

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位：円)

費目	21年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	600,000	606,000	6,000	303口（前納口数71を含む）
本部援助金	228,500	228,100	△400	毎年3%減、端数の誤差
総会費	800,000	950,000	150,000	来賓9名＋会員86名
広告料	55,000	50,000	△5,000	4件
寄付・利息		22,323	22,323	寄付22,000、利息323
当年収入計	1,683,500	1,856,423	172,923	
前年度繰越金	1,052,171	1,052,171	0	
合計	2,735,671	2,908,594	172,923	

支出の部

総会費	750,000	865,885	115,885	80名の予算が95名出席
総会場・懇親会費		777,820		
その他諸費用		88,065		
会報費	600,000	509,389	△90,611	
会報諸印刷費		346,920		1,300部発行
会報配送費		100,560		発送部数1,257部クロネコ便
編集雑費		61,909		
会議費	100,000	35,980	△64,020	定例幹事会4回
交通費	185,000	106,660	△78,340	
本部・支部総会参加交通費		76,070		本部・8支部総会への参加
一般交通費		30,590		幹事会他
交流費	250,000	275,603	25,603	
本部・支部総会参加会費		87,000		本部・8支部総会への参加
同好会援助		120,000		ゴルフ、山遊、ダンス、囲碁、写真、他
雑費		68,603		ホームページ更新料・通信費、資料代
当年支出合計	1,885,000	1,793,517	△91,483	
次年度への繰越金	850,671	1,115,077	264,406	三菱東京UFJ銀行
合計	2,735,671	2,908,594	172,923	

以上の通り報告致します。

会計幹事

菅谷 禎男 ㊟

平成22年 4月17日

監査の結果上記に相違ないことを認めます。

監事

小林 一 ㊟

平成22年 4月17日

監事

小澤 茂 ㊟

平成22年度東京支部予算案

収入の部

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位：円)

費目	22年度予算	前年実績比	摘要
年会費	600,000	△6,000	年会費2,000×300名目標
本部援助金	221,200	△6,900	前年実績比3%減
総会費	1,000,000	50,000	会費10,000×100名目標
広告料	65,000	15,000	5件目標
寄付・利息	20,000	△2,323	
当年収入計	1,906,200	49,777	
前年度繰越金	1,115,077	62,906	
合計	3,021,277	112,683	

支出の部

総会費	900,000	34,115	100名の参加者を目標とする
会報費	600,000	90,611	A4版32頁→36頁へ：1,300部印刷費用は20,000円アップ
会議費	50,000	14,020	
交通費	150,000	43,340	本部・9支部総会へ参加
交流費	300,000	24,397	
当年支出計	2,000,000	206,483	
次年度繰越金	1,021,277	△93,800	
合計	3,021,277	112,683	

アクティブシニアの青春

田崎 耕八氏 (昭 32 学電)

[編集部から]

昨年、多賀工業会東京支部同好会の一つである山遊会の副会長、田崎さんが日本百名山全座登頂を達成されました。お祝いをおかねて、山遊会の後輩、菅谷禎男(昭 42 学機) 編集員がインタビューをしました。

\* いつ百名山全座登頂を達成されたのですか？

平成 21 年 9 月 5 日 (土) 9 時 48 分に水晶岳 (2,986m) に登頂し、日本百名山全座登頂を果たすことができました。今回はM旅行ツアーに参加しての裏銀座縦走(夜行・3泊4日)でした。

\* 水晶岳を最後にした理由は何でしょうか？

このコースは一昨年にも来たのですが悪天候のため縦走を断念し、昨年がリベンジの裏銀座縦走となりました。

\* 水晶岳に登頂したときの行程をお願いします。

◎9月2日(水)晴 参加者 22 人と添乗員 2 人を乗せ深夜バスは、翌朝 5 時 30 分新穂高に到着。

◎9月3日(木)曇 6 時登山開始、歩程 6 時間

岩の割れ目から吹き出す冷風「お助け風」を楽しみ 1 時間ほど歩き、わさび平小屋で休憩、11 時 30 分宿泊する鏡平山荘に到着。早く到着したので鏡池に映る槍ヶ岳や穂高連峰の撮影に興じた。



鏡池に映る穂高連峰

◎9月4日(金)晴 6 時出発 歩程 6 時間

弓折乗越でウラジロタデや槍ヶ岳の写真↓を撮り、8 時 30 分双六小屋で大休止。9 時 50 分双六岳、



11 時 45 分三俣蓮華岳、山頂で昼食、記念撮影。13 時 05 分三俣山荘に到着。早く到着したので、周りの景色を楽しみながら、明日に迫った 99 座目の鷲羽岳、100 座目水晶岳への思いを新たに。夕食後、外に出てみると槍ヶ岳が夕日に映えて美しい。



◎9月5日(土)晴 6 時出発、歩程 7 時間

三俣山荘から鷲羽岳へのコースタイムは 1 時間 30 分だが、砂礫の急登なのでかなりハードだ。

7 時 10 分 99 座目の鷲羽岳頂上に立った。ここで北アルプス随一という展望を楽しむ。



鷲羽岳 (2,924m) 山頂・99 座目から

いよいよこれから 100 座目の水晶岳に向う。

9 時 00 分、水晶岳小屋に到着。伊吹麝香草、岩桔梗などの高山植物を愛でながら息を弾ませて岩稜を登り、9 時 48 分水晶岳 (2,986m) の頂上に立ち、遂に日本百名山全座登頂を達成した。



水晶岳 日本百名山全座登頂を達成

10 時 30 分水晶岳小屋で早い昼食。東沢乗越のヤセ尾根、真砂岳をトラバース、14 時 10 分野口五郎岳に登頂。14 時 45 分野口五郎小屋泊。

◎9月6日(金)晴 歩程 6 時間 30 分

5 時出発。5 時 20 分高瀬川・湯俣温泉谷を挟む東側対山の燕岳・表銀座コースをシルエットにして太陽が登る。日の出を拝み写真撮影に興じた。

日の出 表銀座コースをシルエットに→



白砂の登山道、コマクサの群生する砂礫地帯を通って烏帽子小屋に到着、烏帽子岳に登り、小屋で早い昼弁をとり 10 時に出発、日本 3 大急登とも呼ばれるブナ立尾根の急坂を下山した。

**\* 百名山全座登頂を考えた動機は何ですか？**

山登りを始めるまではゴルフ狂と言われるほどゴルフに熱中していましたが、飛距離を維持するためには足腰を鍛えなければと 10 年前の 65 才から奥多摩や秩父の山を徘徊し始めました。

2000 年 7 月に友人に誘われて大雪山・旭岳に登り、2001 年 1 月に韓国岳・開聞岳の登山ツアーに友人を誘って参加したのが本格的に登山を始めるきっかけとなりました。そのときツアーに参加した同年輩男性 2 人と 2005 年 6 年に越後・北陸・四国・北海道・東北とマイカーでキャンプ登山を重ねているうちにゴルフはすっかりお留守になり、気付いたら日本百名山を過半数登っていました。

それから日本百名山全座登頂を目指そうと思い、北アルプス南アルプスと縦走で登頂座数を増やしていきました。

**\* 百名山全座登頂に 10 年ほどかけた訳ですが、何に惹かれて登山を続けてこられたのですか？**

登山を始める以前から山野草に興味を持っていましたので、岩稜や池塘のお花畑に咲く高山植物に魅せられ登山をやっているうちに 75 才になり、日本百名山全座登頂を達成したという感じです。

風景や眺望、高山植物のお花畑など、言葉を失うほどの絶景や心踊る自然美、日常を忘れさせる美しさに出会ったときの感動、特に息を切らして急峻な岩稜を登りつめて体力の限界を感じたときに出会った瞬間の感動など、生きている実感が湧いてきます。天候に恵まれず、雨風、運悪く台風に遭遇したときは、ただ黙々と目的地に向かうのみですが、そう言う場合は、周りの草木や足元に咲く花に目をやりながら山歩きを楽しむことにしています。

**\* 心に残った山々を紹介してください。**

白馬岳 (2,932m) : 大雪渓を登りつめ、葱平天頂のお花畑に出会った時の感激。



信濃金梅 (シナノキンバイ)

劔岳 (2,998m) : 一服劔、前劔を登り、カニの縦這をよじ登り頂上に立った時の達成感。



やったぜ！

北岳 (3,192m) : 眺望の素晴らしさと、八本歯コルの岩稜に咲く高山植物の美しさに感動。



八本歯コルの岩稜に咲く岩桔梗 (イワギキョウ)

鹿島槍ヶ岳 (2,889m) : 糸魚川街道を通るたび仰ぎ見た双耳峰に登頂したときの感激。



目指すは双耳峰の鹿島槍 (五龍岳から)

**\* 今後の登山計画はどのようなものですか？**

「せくな老楽シニア青春これからよ」とアクチブに、だが年齢相応のペースで無理をせず、高山植物の花を愛でながらの登山を続けたいと思っています。

**\* インタビュー後記**

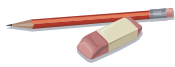
田崎さんは山遊会の登山計画をほとんど全部作成し、登山のリーダーとして活躍されています。特に体力は抜群でこれほど健康な後期高齢者 (田崎さん自身の自己紹介) になれるか私たち後輩があこがれているところです。また、高山植物にも詳しく、名前を教えてもらいながらの登山も楽しみです。

これからも、山遊会を引っ張ってくださいとお願いしインタビューを終えました。 (菅谷)

**田崎氏のプロフィール**

1957 年 4 月 (株)ラジオ東京 入社  
1959 年 3 月 (株)東京放送 (社名変更)  
1997 年 12 月 同社退職  
趣味 : 登山、囲碁、ゴルフ、園芸

# 多摩新四国八十八ヶ所霊場巡拝記



朽本 二郎 (昭 19 専原)

歳をとってお寺さんと何等かの関係が出来て来ると、私如き不信心なる者も、少しづつ信仰心が育って来るようである。この所、暇があるので、般若心経など覚えてみた。勉強が足りないで意味は良くわからないが御利益はあると思う。法事などでお寺さんが居ない時は、お経をあげてあげると一応喜ばれる。また信号待ちで赤信号の時にはお経をあげると一回終わらないうちに青信号に変わる。イライラすることはない。ただし、運転中はやらない方よいと思う。信号が変わっても気が付かない事が有るからである。そんなわけで目下勉強中である、そしてまず実行であると思ひ一念発起、八十八ヶ所霊場巡拝を始めることにした。しかし、本場四国まで行くのは一寸大変である。幸いにも我が多摩地区には四国八十八ヶ所を写した新四国八十八ヶ所があるので、前々からやって見ようと思って居たのではあるが、早速取り掛かることにした。



**第一番札所は我が町、吉祥寺の安養寺である。**これではやらない訳にはゆかぬ。

先ず、案内書を手に入れたが、案内書に曰く	
先ず第一番は武蔵野の	音に聞えし吉祥寺
帝都郊外いと近く	新宿駅を起点とし
乗車の賃金二十銭	省線電車利用して
吉祥寺駅にて下車すれば	右に出口を一直線
三丁進めば五日市	大街道に突き当る
左に曲り約一丁	歩み運べば右側に
松柏茂る霊域が	打ち始めなる第一番
貴き霊場安養寺	

かくして安養寺に到達するが、私の場合、自宅発徒歩で軽く到達である。境内には、吉祥寺村開村当時の庚申塚などが遺り、市民の心の支えとなっている。本寺が相当する本場四国八十八ヶ所の第一番は鳴門市の竺和山霊山寺である。

**次に行くのは第二番延命寺**であるが、案内書には次の如く続く。

次は二番の御札所	同郡同所関前の
延命寺とぞ申すなり	ここより道のり十八丁
道は改正道路 (アスファルト) にて砥の如し	
あゆみを好まぬ人々は	
乗合自動車 (バス) の便により	

延命寺前に下車すべし 乗車賃金規定には二区のキップで金十銭乗る乗らないは随意にてとあるが私の場合は五日市街道を西進して、徒歩にて延命寺に到達する。本寺は本場四国では鳴門市の日照山極楽寺に相当する。

**案内書にある五日市大街道**とは昔は「いなみち」と言って、徳川家康が江戸城の石垣修繕のため、信州伊那から連れてきた石工職人の住む五日市の伊奈に通ずる古道である。石工職人達は故郷伊那に地形環境の酷似した現在の土地に居を定め、地名を伊奈として江戸城への出張のためこの道を往復したものである。作業を終えて江戸のお土産を携えて故郷への道を急いだ姿を、私も成田空港の工事現場からちよくちよく帰宅した頃と重ね合わせと色々と思ひ起こす節も多い。案内書にはまた我が町吉祥寺の目玉である井の頭公園についても、そつなく次のようにPRしているのも面白い。

直ぐ行くべきが順なれど  
 此処の町こそ誰も知る 井頭弁天安置の地  
 ましてや今は大公園 これが恩賜の公園ぞ  
 . . . . .

水は最上気持よし 昔の江戸はこの水が水源 (みなもと) たりし朗らかさ . . . . . となる。昔、江戸人は皆、井之頭に湧水する神田上水の水によって生活したのである。

**次は、第三番井口院**に向かって大師通りを南下することになる。元三大師深大寺に向かうのでその名があるが、私は鎌倉街道のバイパスに使われた道ではないかと思う。つまり、豊島郡の方からやって来た鎌倉街道は、当然昔ながらの国府のあった府中を通過するのであるが、田無の手前でこれと別れた近道として利用され、鶴川のあたりで再び本道に合流したと考えると辻褃が合う。沿道には深大寺、如意輪寺と二ヶ所の大師様があり、昔は主要な道路であったことを思わせる。

玉川上水に架かる小橋を昔から大橋と言うが、これも当時の幹線道路であったことの証明であると思う。先頃、小錦と言う大きな相撲取りが居たが、我が町には小さな大橋があるのも面白い。そして井口院に到達する。

本場で相当するのは徳島県板野町の亀光山金泉寺である。このお寺の見所は、地下に安置された四国八十八ヶ所すべての仏様である。そして座布団にはそれぞれ現地の砂が縫い込まれているので、ここでお参りをすれば、八十八ヶ所のすべてを達成したことになる。よって、これで終わっても良いのであるが、私は、尚、続行しているので、続けて書かせて頂ければ有難いと思う。

**著者プロフィール (名刺の肩書き)**  
 武蔵野市防衛協会會員、港区防衛親交會會員、  
 日本会議正會員、海軍造機會會員、海軍特年會讚助會員、  
 軍艦大淀會讚助會員 (遺族)、濱名海兵團五〇四分隊

# さくらそうに魅せられて

吉田 宗昭 (昭 39 学精)

カメラ会社の開発に配属となり、写真を撮影しなければと、たまたま親父が育てていたさくらそうをモデルにしたのが始まり。

さくらそうに魅せられて、毎年厳寒の季節に鉢をひっくり返し、植え替え、ひたすら春の訪れを待ち、写真を撮り続けて 40 年、あと 10 年は続けたいな！



(荒川の野生種)

荒川の原に鷹狩りに出かけた将軍が足元の可憐なさくらそうに心を止められた。この様子を見ていた御供の武士が、これを育てたら！！と持ち帰り栽培を始め。直参の武士の間にさくらそう作りがはじまった。

そのうちに変わった花形や花色が残され、更に種をまくことで、美しい花が作られ園芸植物として、天明～寛政 (1772～1780) のころが盛んな流行期。

明治維新でさくらそうは直参の武士から華族や資産家の楽しみとなり、戦後、やっと自由な空気の中で誰もが楽しめる園芸植物になった。

さくらそうは芽分で増やすので、商業生産が難しく愛好家の間で綿々と受け継がれ、江戸時代の品種が残された貴い文化遺産である。



(南京小桜、享保年間 1716 作、  
現存する最古の品種)

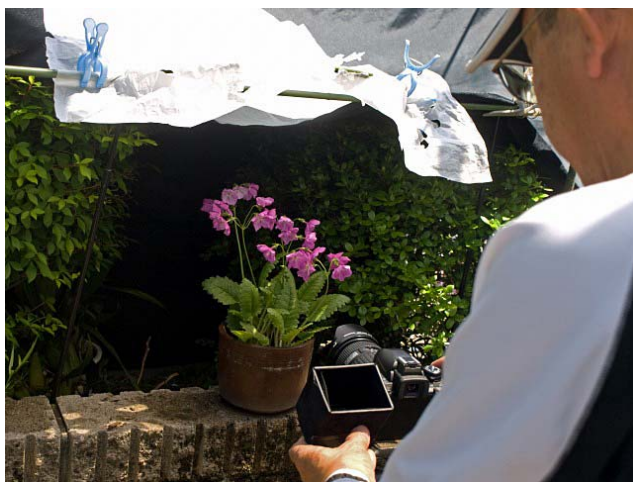
私も 180 種 (350 鉢) 育てているが品種を間違いなく育て続けるのが難しく、正しい品種を写真で撮影し公開したいと思い立ちホームページで公開中である。

しかし、さくらそうの花色を写真で正確に再現するのは、現在の技術では不可能、出来るだけ近い色で良いかと割り切っている。



(紅葉川 2008 年登録)

<写真撮影> 夜明け後 30 分から、せいぜい 9 時ごろまでで、風の無い日でも、日が高くなると地面が温められ自然対流が起こり被写体が揺れて巧く撮れません。下の写真撮影では太陽光線をトレーシングペーパーで覆い、メインの花が木漏れ日状態になるようにトレーシングペーパーに穴をあけて撮影するなどの工夫をしています。



(さくらそうの撮影秘技)

さくらそうに興味をお持ちでしたら、下記のホームページへどうぞお越しください。

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~m-a-yo/>



## 著者プロフィール

出身高：宇都宮高校

昭和 39 年：オリンパス入社、カメラの開発、製造、販売を担当。

定年後：デジタルカメラの使い方、画像処理の楽しさをガイドしている。

# 中小企業の経営回顧録

小谷野 英勝(昭 41 学化)

昨年 8 月、クラスメートの青野氏・橋川氏に誘われ多賀工業会東京支部総会に初めて参加致した際、菅谷様から原稿を依頼され、安易に引き受けたものの、適切なテーマが見つからなかったのが掲題のテーマで纏めてみました。



## 1. 超零細企業への入社と特殊技術

私は、昭和 41 年、卒業と同時に大学の教授のアドバイスで、血縁関係など皆無の東京都目黒区の超零細めっき会社（大正 5 年創業）に就職致しました。会社の全人員は 15 人で工場は古い木造でめっき槽と整流器が数個だけ、研究設備は皆無、めっき液の分析用ガラス器具がある程度でした。

処が、工場では当社が昭和 33 年に国内最初に実用化した錫(融点 232℃)と鉛(同 327℃)の合金、即ち半田めっき(同 183℃)をほぼ独占生産していました。水溶液の電気分解で合金が得られことに魅せられ、以降種々の合金めっきの等の開発に従事した。入社当時、既に電気化学権威者の 1 人である東京工業大学工学部長の向正夫教授よりご指導を受けていました。

## 2. 人脈の大切さ

昭和 43 から 45 年にかけて上記“向教授”のご指導で或るめっきの技術開発をエジプト人と共同で約 2 年間行った。しかし研究は失敗した。後日、当時の社長に意見を聞いた処、最初から成果は期待していないこと、一流の先生との交流の機会と人脈を作ることが目的であったことを知らされ、複雑な思いをした。ところで、社長の思いは現実となり、以降、電気化学の世界的権威の東工大教授“春山志郎先生”を筆頭に向研究室卒業生及び他の大学の教授などとの交流機会が増えると共に、当社の技術開発及び新規受注で成果が上がるようになった。彼らとは現在まで種々交流し、先端技術・製品開発情報の入手、自社技術の向上、会社経営などに大いに役立てることが出来ました。

この間、昭和 45 年から約 7 年間、クラスメートの東工大付属高校教員“橋川隆夫氏”の適切な指導・支援を受け人材不足を補完出来ました。

## 3. 青天の霹靂：社長就任

昭和 62 年、社長(3 代目)が病臥したため平成元年に社長に就任することになりました。しかし、経営の基本知識が皆無な為、先ず現状の詳細分析をし、短期・中期の経営環境の変化の予測と優先実施事項を決め積極的に展開することとした。

即ち、電子部品のめっき専用工場を平成元年に受注の当てもなく約 10 億円の借金で新規開設した。予想外にも引退していた 2 代目社長が全権限を私に委譲し、更に、自宅を売却して事業資金の一部を提供してくれたのには大いに励まされた。

## 4. 波乱万丈の経営

平成 2 年 4 月、新工場が操業開始したが約 1 年間は新規受注も皆無に近く一時途方に暮れていた。この間、社長方針に従えず営業部長と工場長が退社した為、第一の危機に直面した。しかし、重要な部門の幹部に即戦力の優秀な人財が確保でき、前述の種々の人々のご指導・支援などもあり、徐々に軌道に乗り始めた。会社経営には優れた人材と人脈構築が最も重要である事を再認識した。

又、経営上の重要議題の決定・展開は常に私が行った。即ち、信頼できる幹部の提案でも不適切なことも多く、背筋が寒くなることを何度も経験した。例えば、微細電子部品(SMD)へのめっきに成功し、売上比率 60%まで成長し受注内容の特化の提案があったが、逆に危機を感じ数年後に消滅することを予測し、新テーマの展開に注力した。予測どおり数年後その売上は消滅したが、新規受注が増加し経営破綻を回避できた。以後も幹部の類似の提案と却下は多数経験したが、その原因は幹部に経営責任が無く中長期の分析不足が原因であった。即断即決で何度か失敗し幾度か資金繰りに苦労したが、新製品・新技術の受注増加で現在は銀行も驚く無借金経営の超優会社となった。

21 年の社長就任期間中は、下請け企業の悲哀、自由な発想で展開できる楽しさと生きがい、全ての責任の重さと厳しさ、孤独などを経験した。

この間、会社のビジョンの再構築と営業展開を鑑み、博士号取得を計画し過去の研究開発テーマを見直し 2 年間の休日を再実験と論文作成に振り向けた。東京理科大学教授“加藤正義先生”のご指導のお陰で 7 回の審査を経て博士号を取得でき、一流企業との取引も増加し現在に至っております。

## 5. 現況

相談役として時折出社するも、電池、LED、自動車、電気自動車、エネルギーなどの展示会、学会などの新製品・新技術情報の提供に徹し、その他の時間は数年前に開始したゴルフのほかテニス、囲碁、家庭菜園などにチャレンジしている。

### 著者プロフィール

1966 年 4 月	(有) 東京鍍金工場入社 〔現(株) トーテック〕
1989 年 9 月	代表取締役社長に就任
1995 年 3 月	工学博士号取得
2009 年 9 月	代表取締役退任

# 私の新しい経験

橋本 弘道 (昭 43 学電)

昭和 43 年に東京電力(株)に入社し、火力発電所の運転・保守を経験後、主として建設部門に従事し、最後の建設は常陸那珂港敷地内にある常陸那珂火力建設所の所長として、平成 9 年から 13 年までの 4 年間従事しました。環境アセスメント・



着工・試運転直前までの業務では、学校の先輩で当時の東海村須藤富雄村長(昭 23 専船)と現在の村上村長には大変なご指導とご支援をいただきました。また、寺門龍一先生(昭 25 専電)には、建設現場を視察していただいたこともありました。

「各職場に自分の足跡を残す」「良いと思ったことは、周囲に関わった人間がいようが必ず実行する」をモットーに会社生活を過ごしてきた私が上述建設所で実行したのは徹底したコストダウンでした。

ゼネコン、メーカーの営業部門の方に対しては、挨拶営業はやめて、コストダウン提案型の営業で来所するよう掲示したところ、「電気新聞」のコラム欄に取り上げられたこともありました。茨城県との常陸那珂港防波堤、火力敷地の埋め立てを含めた建設の計画稟議から約 1,000 億円を圧縮し、達成しました。社内では Mr.CD (ミスター・コストダウン) と呼ばれたことを思い出します。

その後、完成までやりたかった私に、平成 13 年 6 月、理事・東火力事務所長(千葉県内の 5 火力発電所を統括する)の辞令が出て、2 年間従事し、東京電力(株)を退職しました。

平成 15 年 6 月、子会社である東京臨海リサイクルパワー(株)社長の辞令を受け、6 年間社長を務めました。平成 14 年 12 月に資本金 4 億円(その後 46 億円に増資)で設立された産業廃棄物と感染性医療廃棄物を焼却処理し、処理費を売り上げとする生業の会社です。東京都の「スーパーエコタウン事業」の公募に応募して、選定された会社で、最終処分量を 1/40 に減容し、都内産廃排出量の 1/3 を処理、都内医廃排出量の 2/3 を処理し、焼却灰を発生させない先進技術によるリサイクル(発電・溶融スラグ・金属)を取り入れて処理する方法は業界では最新の日本最大規模の会社です。環境アセスメント・着工・建設・運開までの 4 年間と操業 2 年間の中で、前半は経験で対応できましたが、後半の 2 年間は、それはもう大変な日々でした。東京電力の火力部門しか知らない私にとって東京臨海リサイクルパワーは全く

見知らぬ世界での会社運営でした。この業界の好ましくない慣習に立ち向かって営業を開始したのですが、武士の商法では廃棄物が集まらず、当初よりは後退した営業方針にならざるを得ませんでした。株式会社でありながら、貸し手の考え方を押し通す銀行からプロジェクトファイナンス(PF)で 230 億円の融資を受け、事業収支の中から年間金利 10 億円を含む元本を返済していく契約の中で、四苦八苦しなげに陣頭指揮をしました。毎日毎日が勉強の連続でしたが、今では懐かしく、回顧できるようになりました。

本格操業から 3 ヶ年で単年度黒字となる計画でしたが、最終年にリーマンショックによる世界不況に見舞われ、産業の落ち込みによる産業廃棄物の激減による影響はあまりにも大き過ぎました。平成 22 年 3 月、赤字補填・借金解消を親会社の実施、赤字・借金ゼロの状態での再スタートとなりました。

平成 20 年 7 月 28 日天皇陛下の東京都スーパーエコタウン行幸にあたり随行し、「御昼食会」にご一緒させていただき、現在は科学未来館の館長でもある宇宙飛行士毛利衛氏が会社見学に来られた際、お話し合いをさせていただくなど、通常ならありえないことまで経験させていただきました。

現在は東京電力(株)火力部顧問として週 3 日の非常勤となり、ヒマな毎日をどう過ごすか悩んだあげく、「四街道まちづくり」地域活動に活路を見いだしました。まず、四街道市に住んでいる東京電力(株)火力部門 OB の仲間 29 名での親睦会を立ち上げ、私個人は平成 21 年 12 月市議会の傍聴から始めました。いかに市行政の状況を知らなかったか、思い知ったものです。平成 22 年 2 月には、病気療養中の市長辞任により四街道市長選挙が行われることになり、市長候補予定者 5 名を集め、住民約 100 名参加のもと、公開討論会を企画・主催し、私が司会を務めました。3 月市議会には、本会議・常任委員会と都合のつく限り傍聴に出かけ、その都度、市議会に対する意見書を提出、あわせて市長あての「市民の声」を提出しました。市長・議長・議員(後輩の女性議員もいます)・議会事務局など顔見知りになっての意見交換を継続し、多少なりとも地域活動に寄与出来たかなと思いついておられます。この先、どんな新しい経験を掴むことが出来るのか、楽しみな今日この頃です。

## 著者プロフィール

昭和 39 年 3 月 栃木県立宇都宮高等学校卒業  
昭和 39 年 4 月 茨大工学部電気工学科入学  
水戸でも日立でも(混声)合唱団に入部した  
昭和 42 年 4 月 卒研は原研に通い[MHD 発電]  
平成 15 年 6 月 東京臨海リサイクルパワー(株)  
平成 22 年 3 月 東京電力(株)火力部顧問

# 笠間クラインガルテン

吉田真吾（昭44 学子）

60歳まではサラリーマン生活を考えていたが、57歳でソニーを早期退職した。退職したら毎日が日曜日でのんびりと自由な時間を満喫できると期待をしていた。平日に図書館でゆっくりと過ごし、また近所を探索がてらウォーキングしようと考えていた。退職後、計画を実行したが、図書館は休日以上に小父さんたちで満席、ウォーキングは中年の夫婦か、小父さん一人が多く、何か気恥ずかしく直ぐに挫折した。これではこれからの長い人生があまりにも退屈になってしまうと少々焦りを感じていた頃、テレビで笠間クラインガルテンの紹介番組が放送された。自然と触れ合いながら生活するのも楽しそうであると思い、クラインガルテンのことを調べてみた。



クラインガルテンはドイツを始めとしたヨーロッパ諸国で、都市生活のために庭を持つことができない市民のために作られた農園。農園にはラウベと呼ばれる小屋と芝生、花壇、畑などが配置されている。また、利用者同士が集うクラブハウスなどが整えられており、単なる菜園ではなくコミュニティ形成の場として市民生活活性化のため重要な役割を担っている。

笠間クラインガルテンは茨城県笠間市郊外の里山にあり、「農芸と陶芸のハーモニー」がテーマで、農の持つ多面的機能、笠間焼きに代表される歴史・芸術・文化の融合を図り、笠間型のライフスタイルを楽しむことを提案して平成13年に設置された。宿泊施設付き市民農園は1区画が約300㎡の土地に37㎡のラウベ（ログハウス）と菜園、芝生がある。利用期間は1年単位で最長5年間利用できる。年間利用料は40万円。平成22年4月から多目的交流施設（トレーラーハウス）が設置され、一般来訪者の宿泊も可能になった。笠間クラインガルテンを利用するには簡単な書類審査と面接があり、当選する確立を高くするのは夫婦で面接を受けることとの事。老後の生活は夫婦仲良く暮らすことらしいが、これはなかなか難しいことである。

平成19年4月より約4倍の競争率であったが運良く当選しガルテン生活を始めた。ガルテンでの年間共同行事は4月の入村式、花見、8月の夕

涼み会、10月の十五夜、12月のクリスマス会、1月の新年の挨拶、3月の卒村式。年4回のガルテン内の清掃作業が全員参加で行われる。自由参加でガルテン近くの畑を借用し、春にジャガイモ、夏にトウモロコシ、ズッキーニ、自然薯、サツマイモ、里芋、椎茸、秋には温海かぶの栽培を行っている。野菜の苗は農業用ハウスで春野菜、秋野菜を種から年2回栽培している、これらに全部参加すると毎週、笠間に通っても結構忙しい日々を過ごし、陶芸を楽しむことができないでいる。

1年目は生まれて初めて土に触れ合う生活で、当初は戸惑うことばかりであった。年間の栽培計画を「家庭の野菜作り」、「栽培講習テキスト」等で綿密に計画し、畑の栽培場所の決定をたてた。種を蒔いて芽が出てきた時はこれで立派な作物が収穫できると期待に胸を膨らました。1年目は約30種類の作物を栽培した。栽培方法は有機栽培、無農薬で行うことがルールである。健康にやさしい作物が食することができる喜んでいたが、これが初夏から大変な作業になるとは想像もできなかった。作物と同じように雑草が生長して雑草取り、青虫等害虫の駆除で毎週3～4日間の作業では追いつかなくなる状態で、レタス、キャベツ等葉物野菜はレース状態になってしまった。

2年目からは大雑把にやっつけようと考え、計画もエクセルで詳細に作らず1年目の経験と先輩諸氏のアドバイスを受けながら農作業を楽しむことにした。そうすると気も楽になりいろんなことに挑戦したくなり、ガルテン有志と蕎麦の栽培から収穫・脱穀し蕎麦打ち、味噌作り、納豆作りを体験することができた。

3年目は「男の料理教室」の実行責任者として地元農家のお婆さんの協力を得て3回（ザル豆腐、蕎麦打ち、黒豆ご飯、卵の花、かぼちゃのスープ）開催した。笠間クラインガルテンでの残り2年間で里山暮らしと楽しい農作業と還暦になってから始めたゴルフで大いに楽しもうと思っている。

## 著者プロフィール

北海道釧路市出身

昭和44年4月 富士電機家電(株)入社

昭和57年2月 ソニー(株)入社

平成16年3月 ソニー(株)退職

平成16年6月 ミハル通信(株)顧問就任

平成22年5月 ミハル通信(株)顧問退任

現在 横浜市磯子区在住

笠間クラインガルテンホームページ

<http://www.city.kasama.lg.jp/garten/index.htm>

# パワエレの世界の中で

松田 秀雄 (昭 49 院子)

## 1. はじめに

大学卒業後、東芝でのパワー半導体開発を通しパワーエレクトロニクス(以下パワエレ)の世界で生きてきました。その中で感じたことを少々。

## 2. デバイスとパワエレ

当初は、パワーシステムの新プロジェクトに対し新しいパワーデバイスの開発が要請され、それに応えてきました。

ハードとソフトが日々進歩する PC 関連、アキバで Windows95 が午前 0 時に発売されたころ、直流送電変換装置で 15 年間稼働し定期点検で特性変動なく良好な結果であったサイリスタに対し、後 15 年使えますかと問われました。年 1~2 度は更新され古い機種が使えなくなる IT の世界とは大きな差です。長期保証に加え CD を要求されるのはつらいものです。人間は(極論すれば)脳と心臓で生きている、社会も脳である IT のみではなく心臓であるパワエレ(PE)も必須と思っています。

## 3. 遅すぎることはない

長いと言えば、海外のある顧客に 1st サンプルを提出し、その後何回か改造し、実に 5 年後によく認定されました。長い年月がかかったと言ったら、何事も遅すぎることはないというようなことを言われました。当時、ジョギングをやっており 20km の大会にも参加していました。30km の青梅マラソンにはじめてトライする時、完走できるか試走し完走して自信を得た翌日膝の痛みを感じました。複数のスポーツ整形外科に行ったが一向に良くなりならず、大会前日、わらをもつかむ思いで鍼灸医院の門をたたきました。白衣を脱げば普通のおばさん風(60歳に近いと推測)の先生に事情を話し治療を受けました。もろ鍼と灸の治療でした。翌日、大会当日、不安いっぱいの中スタート。1km 走れ、2km 走れ、5km、10km、20km、そして 30km 完走することができました。感無量でした(その後、フルマラソン、皇居 10 周 50km、富士登山マラソンにトライしいずれも完走)。後日その先生にお礼かたがたアフターケアに行きました。その先生曰く、いま水泳をやっている、スキーも主人に誘われ 50 歳から始めた。海外の顧客から上記言葉で労をねぎらわれた時、心底「何事も遅すぎることはない」と思いました。

## 4. ロジカルシンキング

海外といえば、欧州のある会社と技術提携をし、お互いの技術を相互に提供しました。技術提供の際、数日長時間にわたり実習・レクチャーしまし

た。その際、設計の根拠、製造プロセスの根拠につき理路整然と問われました。半導体製造には know-how 的要素もあり、対応には労を要しました。これができる左脳人種のロジカルシンキングかと困惑しながらも驚くやら感銘するやらでした。

## 5. 教科書にない話

'90 年代に欧州高速鉄道網が構築された際、新技術を採用して開発したデバイスが認定され多くのプロジェクトに採用されました(世界シェア 75%↑)。デバイス出荷に際しては、ロット認定試験、各デバイスの初特性・信頼性確認試験を実施しています。そんな中、電圧印加中にデバイスが突然死する不可解な現象が発生しました。解明するまで 1 年以上要し、過酷な日々が続きました。日曜日も午前には週報作成、午後昼寝という生活が続きました。(地上の)宇宙線によりパワーデバイスが破壊するということがようやく判明しました。そのころ日曜にのんびりしていたら当時小学生の娘から「お父さん、今日は週報いいの?」と言われジーンときた記憶があります。体調を崩しました。胃がんで入院手術となりました。病院は、仕事なし・三食昼寝付き・看護婦さんのケアあり・生命保険で入院費用還元、となかなか快適でした。それまで仕事一辺倒でしたが、入院を切っ掛けにいろんな本を読むようになりました。

## 6. 二足の草鞋

現在は、デバイスを使う立場になりました。写真は EV 用急速充電器(洞爺湖サミットモデル)と私です。(IEC 標準化委員会や電気学会等で出会っていたこともあり)各社のデバイス技術者との Discuss が楽しいです。

住職の親父が体調を壊し、ここ数年、週末には田舎へ帰り、親父の代行をしていました。昨年父が亡くなり正式に住職となり、二足の草鞋となりました。今はパワエレの世界と田舎での仏の世界の中で生きております。



### 著者プロフィール

1974 年 東芝 入社  
1984 年 電気学会 進歩賞受賞  
2004 年 東芝ディスプレイテクノロジー 入社  
2006 年 ハセテック 入社  
趣味: ゴルフ、テニス、ジャズ、読書、旅行。

# 30年目の転職

笹沼 克己（昭45学機）

## 1. 高速炉の開発を目指して（20年間）

昭和45年に機械工学科（平野先生の流体研）&サッカー部を卒業して、40年間原子力関連の仕事に携わり続けてきました。東芝では原子力事業部に配属となり**最初の約10年間**は高速実験炉「常陽」、高速原型炉「もんじゅ」の安全解析及び安全設計です。このころの原子力業界は新規プラントの建設ラッシュで事務所内は夜遅くまで明かりが灯り、高度成長が一段落したとはいえ活気に満ちあふれていました。



**その後の10年間**は、東芝が受注した高速原型炉「もんじゅ」における原子炉構造機器のシステム設計を担当しました。もんじゅは国家プロジェクトとして重電メーカ（東芝、三菱重工、日立、富士）が中心となり設計制作が行われてきました。メーカ間の調整がスムーズに行くように、重電4社の合弁会社（高速炉エンジニアリング(株)）が設立され各社から出資に見合った技術者集団が派遣され、私も昭和59年から6年間出向して各社間の取り合い調整等を中心に担当しましたが、各社間の取り合いについては利害関係が伴うため、一筋縄では決着しませんでした。最後はお互いに国家プロジェクトのためにということで妥当なところで調整されていたと思います。「もんじゅ」は40%出力運転時にナトリウム漏えい事故により停止されていましたが、今年5月6日約15年ぶりに再開されたところ です。

## 2. 実用原子力発電所の安定運転のために（10年間）

その後は開発炉から現在主流をなしている沸騰水型軽水炉（BWR）プラントの部門に移り約10年間回転体診断技術の開発設計業務に従事してきました。回転体診断が重要視されたのはBWR再循環ポンプの損傷事故を契機として、重要な回転機器については監視強化するよう行政指導もあり電力/メーカ挙げて回転体の診断装置の開発に取組み、現在では状態変化があれば自動的に振動分析評価ができるシステムとなっています。

## 3. 原子力安全・保安院への転職

平成10年頃は景気の低迷に加え電力業界におけるデータ改ざん等の影響により原子力業界も逆風となり新規プラントも少なく、原子力産業が

最も停滞した時期といえます。平成11年9月にJCO（東海村にあるウラン加工工場）での臨界事故が発生し、放射線被ばくによる死亡者が生じるなど我が国で初めての原子力災害対策が実施された痛ましい事故でした。この時の反省を踏まえて法律の改正、組織の見直しがなされ平成13年1月に保安院が発足しました。このときに原子力保安検査官及び原子力防災専門官の制度が法律で定められて公募があり、東芝、日立、三菱等から30人ほどの技術者を中途採用として保安院が受け入れたのです。当時は原子力が逆風の時に東芝にとっても管理職を受け入れてくれる保安院への転職はそれほど抵抗なく両者の利害が一致していたと思います。保安院は過去の経験を活かして即戦力として働いてくれる原子力メーカ出身者を歓迎し、活躍することを期待していたように思われます。国家公務員から民間企業への転籍いわゆる天下りは良く見られますが、その逆は当時としては珍しく民間人としてどの程度経験を活かせるか多少の不安を抱いての挑戦でした。

## 4. 原子力保安検査官、原子力防災専門官として（10年間）

平成13年入省後は原子力安全行政に係る研修を受講後に、最初は原子力安全審査課で技術基準を担当、その後原子力発電検査課に移り原子力保安検査官として志賀原子力発電所担当、平成16年には原子力防災課所属の原子力防災専門官（検査官併任）として東通原子力発電所、平成21年に高浜発電所担当として現在に至っています。

転職後を振り返ると、メーカで培った知識を活用できたため入省してからも何ら違和感無く仕事ができたと感じています。原子力保安検査官、原子力防災専門官は電力会社等を監視・指導・助言するなど、メーカとは立場が異なる業務をすることになりますが保安院の行動規範となっている強い使命感、科学的・合理的な判断、業務執行の透明性、中立性・公正性を念頭に、これからも残り少ない期間ですが微力を尽くして行きたいと考えています。

### 著者プロフィール

長野県松本市出身

昭和45年東芝入社

平成13年1月東芝退社、経済産業省入省

平成13年5月志賀原子力保安検査官事務所

平成16年8月東通原子力保安検査官事務所

平成21年4月高浜原子力保安検査官事務所

町田市在住、高浜町単身赴任中

趣味 パン作り、ジョギング

編集室からのコメント：Wikipediaに「もんじゅ」の経過等詳しく載せられています。興味ある方は参考にしてください。

# 中部支部の紹介

支部長 根本 弘 (昭38 学金)

中部支部は昭和63年10月に多賀工業会全国ネットワークの12番目の支部として設立されました。活動のエリアは愛知、岐阜、三重県であり、会員約420名で組織されています。平成20年11月には設立20年を記念し盛大に総会を開催しました。創立20周年記念企画「多賀工業会中部支部20年の歩みと今後」と題して支部設立に奔走して下さった岡本 忠顧問(昭26 専原)より設立時の苦労話などを講演して頂きました。第一回の総会には77名の出席者があったそうです。その後は会員の高齢化などもあり総会へ参加する出席者が減少した、固定化する傾向にあることに危機感を持ち「我々は縁という糸で編まれた網の上で生活を営んでいる。多賀工業会という太い糸を大切に、総会などに出席して各界の方々との交友によって見識を深めて欲しい」と結んでおりました。



リーマンショック以来、中部地方の経済も一時の元気が無くなりましたが、このような時こそ多賀工業会という太い糸を縦横に結び、会員の皆様に内在しているエネルギーを多に活用して頂きたいと思っています。それには総会に出席して頂き、参加者を増やすことが課題です。今年度より以下の課題を重点に活動を進めていきます。

① 同好会活動を活性化する。

今年度よりゴルフ同好会に続きウォーキング同

- 好会を発足させ、会員の皆様の親睦を更に深める。また近隣支部との交流会も計画する。
- ② 総会に参加できなかった会員の皆様に支部活動の状況を年一回は手紙とうで配信し、支部活動に関心をもって頂く。
- ③ 幹事会、総会を名古屋市内で行っています。岐阜県や三重県あるいは愛知県内でも遠隔地より総会に参加することに躊躇いをもつ方が多いのではないかと推測されます。今年はトライアル企画として東三河(愛知県の東部:豊橋、豊川、蒲郡、田原市等)に在住する会員と懇親会を開催し、ネットワークを広め、支部活動に理解を深めて頂く予定です。

昨年の総会は残念ながら、会員18名の参加でした。今年は少なくとも30名以上の参加があるよう総会の工夫と支部の活性化を図っていきたいと思っています。

設立以来、支部活動にご尽力くださいました歴代支部長と幹事長を以下に紹介します。初代支部長本告光男(昭22 専電) 第2代廣木守雄(昭32 学電) 第3代佐藤博泰(昭37 学金) 初代幹事長岡本忠(昭26 専原) 第2代松野博朗(昭37 学機) 第3代寺門行彦(昭39 学金) 第4代菅谷伸夫(昭45 学機) の諸氏です。

最後に東京支部会員の皆さんの御健勝と支部の益々の盛会を願っております。

## 著者プロフィール

昭和15年生。茨城県出身。  
昭和38年4月トピー工業(株)  
(旧東都製鋼)入社  
平成20年6月退社  
趣味:卓球、野鳥観察、短歌  
資格:技術士(金属材料)

## パソコン動作が遅くなったような気がしませんか?

4年前に買ったパソコンのスピードが遅くなったような気がしてならない。購入時はWindowsの初期設定が私の要求に合っていて、効率的に動作していたと思われる。インターネットからいろいろなソフトウェアをダウンロードし、使わなくなってもそのままそのソフトウェアをいかしておいたり、使っているソフトウェアがバージョンアップされたりしてるせいなのだろうか。書店にて青春出版社発行の「パソコンの“重い・遅い”がすっきり解決する本」編者オンサイト(¥750)を購入し、Windowsを高速化するためのテクニック



を手順書として恐るおそるWindowsの補助機能を動作させたり停止したりしたところ、かなり動作が速くなった。

Windowsの電源設定に始まり、起動時の不要なサービスを停止して起動時間を短縮する方法とか、ハードディスクの整理が高速化に効果をもたらすためデフラグの方法とか、ネット上から入手無料入手可能なソフトウェアを使った高速化とか、種々の高速化に繋がるテクニックが紹介されている。

パソコンを買い換えるのもチョットという方に試して頂きたいと思います。(編集室 石川)

# お知らせ 囲碁同好会

会長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、専通 22 の大先輩から  
 学子 51 の若手までの方々 43 名で、棋力は七段  
 から 4 級までいろいろです。大会は、年に 4 回、  
 2 月、5 月、11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土  
 曜日に東京市ヶ谷の日本棋院 (3F 椅子席室) で行  
 います。試合は、午前 10 時から夕方まで、参加  
 者各人が 5 回対局する方式で熱戦を繰り広げ

ます。

初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用して  
 いて、段級位にかかわらず、勝つチャンスがある  
 ような運営システムでやっています。成績次第で、  
 段級位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご  
 参加ください。会費は 3,000 円 (入場料、運営費  
 を含む) で 1 位から 6 位までの方と実力を発揮で  
 きなかつた方 1 名に奨励賞が授与されます (スイ  
 ス方式を採用)。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な  
 懇親会を行っています。



第 42 回  
 参加者  
 19 名

## 大会入賞者 (支部会報第 12 号記載以降)

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	参加者
39	09-08-01	山田四段 (電 42)	田中四段 (化 40)	上田三段 (電 37)	山下七段 (電 32)	高橋二段 (電 34)	照沼四段 (金 29)	14 名
40	09-11-14	白石初段 (化 38)	山下七段 (電 32)	寺内三段 (電 38)	高田三段 (機 28)	矢嶋二段 (精 38)	田中四段 (化 40)	14 名
41	10-02-13	豊田三段 (機 38)	高橋五段 (精 41)	真下七段 (機 36)	高橋二段 (電 34)	藤沼三段 (機 43)	山下七段 (電 32)	19 名
42	10-05-08	山田四段 (電 42)	粕谷二段 (電 42)	寺内四段 (電 38)	田中四段 (化 40)	菅谷 2 級 (機 42)	若菜 2 級 (子 51)	19 名

## 旧制水戸高校と親善囲碁大会

高田 丈夫 (昭 28 学機)

本大会は、千葉県支部、埼玉支部からの応援参加を得て、溜池山王の細川ビルで年 2 回行われています。  
 対局方法は、旧制水戸高校方式で、1 人 4 局制です。ハンディを加味していますが、現在までのところ多賀工業会側  
 が優勢です。

### 第 5 回 : 平成 21 年 9 月 5 日 (土)

参加者 : 水高側 9 名、多賀工業会側 14 名

多賀工業会側の 30 勝 23 敗

- 4 勝 0 敗 山田恵規、
- 3 勝 0 敗 佐藤隆義
- 3 勝 1 敗 山下正行、佐藤哲雄、豊田元雄、粕谷利夫
- 2 勝 2 敗 田口嘉男、兼子八郎、関英雄、高田丈夫
- 1 勝 2 敗 照沼清、高橋孝雄
- 1 勝 3 敗 石川英二
- 0 勝 4 敗 小白井和典

### 第 6 回 : 平成 22 年 2 月 27 日 (土)

参加者 : 水高側 12 名、多賀工業会側 14 名

多賀工業会側の 29 勝 21 敗 1 持碁

- 4 勝 0 敗 山田恵規、穂坂邦光
- 3 勝 0 敗 佐藤隆義、豊田元雄
- 3 勝 1 敗 田口嘉男
- 2 勝 1 敗 小白井和典、田中栄太郎 (1 持碁)
- 2 勝 2 敗 佐藤哲雄、高田丈夫
- 1 勝 2 敗 照沼清、高橋孝雄
- 1 勝 3 敗 山下正明、粕谷利夫
- 0 勝 4 敗 関英雄



# ゴルフ同好会

幹事 小澤 茂(昭43 学子)

年間行事として春秋2回のコンペと、6月には5支部懇親コンペを開催しています。

- (1) 平成21年4月16日(水)  
第16回 紫カントリークラブあやめ東コース  
参加者：17名
- (2) 平成21年6月10日(水)  
4支部懇親コンペ：千葉県支部が幹事担当  
藤代ゴルフクラブ 参加者：24名  
(以上については会報第12号で既報)
- (3) 平成21年11月18日(水)  
第17回 紫カントリークラブあやめ東コース  
参加者：14名(敬称略)  
上月(昭36学機)、真下(昭36学機)、駒場(昭38学機)、橋本(昭38学電)、大久(昭38学電)、根本(昭38学電)、兼子(昭38学電)、磯部(昭38学精)、小林(昭38学機)、大泉(昭40学精)、森(昭40学化)、青野(昭41学化)、佐藤(昭43学子)、小澤  
優勝：小林、準優勝：森、3位：上月  
DC：小林(2)、NP：小澤、バーディ：青野  
☆ 実力者小林さんは見事な2オーバーで、他を寄せ付けず、優勝を飾りました。
- (4) 平成22年4月14日(水)  
第18回紫カントリークラブあやめ東コース  
参加者：18名(敬称略)  
上月、真下、上田(昭37学電)、駒場、小林、

橋本、大久、兼子、磯部、大泉、森、青野、佐藤、千ヶ崎(昭43学子)、野崎(昭43学子)、袴塚(昭43学子)、小澤、松田(昭49院子)  
優勝：小林、準優勝：小澤、3位：佐藤  
DC：磯部、松田  
NP：上田(2)、青野、千ヶ崎  
団体優勝：機械チーム(上月、真下、駒場、小林)  
☆ 個人戦は小林さんがベスグロで、2連覇を達成しました。新設した団体戦は、駒場さんの活躍で、機械チームが優勝しました。  
☆ 初参加の袴塚さんと松田さんは、必死にコンペを盛り立ててくれました。

- (5) 平成22年6月2日(水)  
4支部懇親コンペ：水戸・勝田支部が幹事担当  
霞ヶ浦国際ゴルフコース 参加者：20名  
東京支部代表：4名(敬称略)  
小林 一、駒場方耀、青野 潔、佐藤将彦  
個人戦で、佐藤さん準優勝、青野さん3位と好成績で廻り、駒場さんも頑張り、団体戦で悲願の初優勝をたぐりよせました。
- (6) 平成22年11月17日(水)  
第18回紫カントリークラブあやめ東コース  
集合時間：AM8:00 6組予約済  
参加者：募集中、10月30日締切り  
☆ 個人戦は、過去の実績から算出したハンデ方式とします。

連絡窓口 (入会歓迎です！)

小澤 茂 TEL: 045-861-6718

**写真説明：**平成22年4月14日紫CCあやめ東コースにて 朝礼が済んでスタート前後列(立)左から 松田、佐藤、真下、磯部、橋本、森、千ヶ崎、野崎、袴塚、駒場  
前列(坐)左から 小澤、小林、大久、兼子、上月、上田、大泉、青野 (敬称略)





# 山遊会



会長 菅谷禎男（昭42学機）

21年度は4回の山行を行い、12月4日には原宿の水交会で総会並びに忘年会を行いました。三本木支部長が初めて出席、前会長の小宅顧問も常陸多賀から駆けつけ、和気藹々に開催されました。

総会では、田崎副会長より22年度の登山計画が提案され、林会員からも具体的な個々の山についての案内・提案がありました。この結果、林会員の提案を加味しつつ田崎副会長の登山計画を基本に実施していくこととなりました。また、会計担当の石川副会長が多忙により会計を辞任され、青野会員が副会長兼会計に就任しました。

山行計画ごと約1ヶ月前に「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者募集をしています。会員でない方の参加も歓迎いたします。計画案をご検討の上、ご自分の体力等も勘案され是非ご参加ください。

## 1. 第24回 鋸山と日本寺ハイキング

実施日：2009年5月2日（土）日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八（昭32学電）

参加者：12名

山遊会メンバー11名に千葉県支部・檜山支部長が特別参加された。この日は快晴で、絶好の日和となった。集合はJR浜金谷駅で、10時35分、予定通りに、標高329mの鋸山を目指して出発した。10時50分、急な山道に入る。15分程登ったところで小休止。ここで檜山さんからの差し入れの大きなドラ焼きがみんなに配られた。いずれも目を細くしてパクつく。10分ほど登ると観月台。天気が良いすぎるためか、薄い霧が出ていて、対岸の三浦半島までしか見えない。この辺りから道は階段になっている箇所が少しずつ増えてきて、道がひたすら頂上へ向かって登っている。



朽本二郎（昭19専精）さんが先頭に立つ。↑

12時、いよいよ目的地の日本寺。入り口で拝観料を払い境内へ。百尺観音にたどり着いた。一服した後「地獄のぞき」の頂上へ。視界360度、遮るものがなく、三浦半島、遠く九十九里浜、太平洋が広がっているが、富士山は霧でやはり見え

なかった。13時、大仏広場に着いた。ここで待望の昼食になる。紅一点の若い佐竹さんから冷えたビールがみんなに配られた。感謝の気持ちも加わって実にうまいビールだった。15時40分、金谷港に到着。16時発のフェリーに乗船。16時40分、久里浜港へ到着。ペリーの日本上陸の記念碑を見て、京急久里浜駅近くで歓談をし、疲れを癒し、19時解散した。

[東京支部 HP 報告書（報告者：小森より）抜粋]

## 2. 第25回 至仏山日帰り登山

実施日：2009年7月19日（日）・20日（月）

企画及びリーダー：田崎耕八（昭32学電）

参加者：7名

19日22:30発で新宿から中型バスで群馬県片品村の鳩待峠に向かいました。途中、尾瀬高原ホテルで舞茸ご飯の弁当とお茶を受け取り鳩待峠（1,591m）には5:15到着、5:25、尾瀬ヶ原の山の鼻（1,400m）に向けて出発しました。山の鼻へ6:20に到着し、至仏山荘前で早い朝食をとり、6:45、至仏山への登山開始です。湿原の中の木道を進みますと、ニッコウキスゲが咲き乱れ、その黄色は草木の緑色や白樺の白色に相まって一大パノラマを作り出しておりました。中間点（約1,800m）の標識を過ぎてから8:35、3回目の休憩に入り、5分間の立ち休み。所謂樹林帯が終わった辺りで、ここからは先ほどまでかかっていた雲がとれ、燧ヶ岳のてっぺんもよく見え、そよ吹く風がととても爽やかでした。



10:00には頂上（2,228m）まで登ることが出来て、早いながらも昼食タイムです。今回も、佐竹さんが強力ぶりを発揮して持参し、振る舞ってくれた冷えた缶ビールをご馳走になりながら、参加出来た喜びを噛み締めました。至仏山頂上は狭い所で記念撮影も一寸大変なほどの混雑ぶりでした。休憩後小1時間歩き、11:30、小至仏山山頂に立ちました。道々ミヤマキンポウゲ、チングルマ、オゼソウなどの花に出会い、12:15に水場に到着し10分間の休憩をとりました。冷たく美味しい水でした。15:00に鳩待峠を後にして、朝、弁当を受け取った尾瀬高原ホテルで入浴し関越道をひた走って21:00前新宿に到着し、軽くお山祝いをして解散しました。

[東京支部 HP 報告書（報告者：兼子より）抜粋]

**3. 第 26 回 箱根・明神ヶ岳と明星ヶ岳ハイク**  
**実施日：2009年10月22日（木）・23日（金）**  
**企画及びリーダー：田崎耕八（昭32学電）**  
**参加者：6名**

22日8:48、小田原駅から3両編成の大雄山線に乗って大雄山駅まで行き、9:15、バスで最乗寺へ。曹洞宗の大寺で大木の杉並木、おびただしい数の寄進の石碑、私たちもお参りをし、9:45、いよいよハイキング開始です。10:45、明神ヶ岳見晴小屋に到着、ヤビツ峠が霞んで見えました。11:15、神明水に到着、冷たくて思わずぐくりと飲んでしまいました。小休憩の後、ススキ道を登ると両側には lindo の青紫、アザミの赤紫、野菊？の白があり、目を楽しませてくれました。さわやかな風と共に、11:40に30分の昼食休憩を取り、12:20に明神水を通り、木漏れ日を浴び、まつむし草の紫を見ながら12:35明神・明星分岐を過ぎて12:45に明神ヶ岳（1,169m）の頂上に到着しました。金時山の向こうの雄大な富士山を眺めながら、佐竹さんが運んでくれた冷えた缶ビールをそれぞれがグーッと飲み干しました。感謝、感謝でした。



明神ヶ岳頂上

13:20、明神ヶ岳を後にし、14:45、明星ヶ岳（924m）の頂上に到着しました。大きな石碑と道祖神があるものの眺望がなく5分後には出発しました。16:00には宮城野バス停に着き、バスに乗って16:35にTBS箱根クラブに到着、お疲れ様でした。明日からの山行に参加する藤田さん（19専原）、朽本さん（19専原）の両大先輩はすでにチェックインされ部屋でくつろいでいました。一緒に温泉に入り、豪華な夕食をビール、赤・白ワインで楽しみ、部屋に戻っては田崎リーダーの100名山踏破を祝福して、前田さんがG8サミットで乾杯に使用された磯自慢大吟醸、矢野さんが焼酎をとまたまた楽しみました。翌日は朝8:00からの朝食、大先輩お二人の食欲にも皆びっくり、さすがと感心するばかりでした。9:00にTBS箱根クラブを出発して9:15にはススキが原を散歩、仙石高原を9:36発のバスに乗って宮の下へ、宮の下駅10:02発に乗って小涌谷に10:10着、11:35、浅間山（804m）の頂上着きました。ここからはずっと下りで、14:50箱根湯本に



浅間山頂上

到着、「はつ花」で蕎麦と生ビールの乾杯後、箱根湯本駅での流れ解散となりました。

東京支部 HP 報告書（報告者：菅谷より）抜粋]

**4. 第 27 回 寶登山・蠟梅ハイク**  
**実施日：2010年2月6日（土）**  
**企画及びリーダー：田崎耕八（昭32学電）**  
**参加者：12名**

当日はちょうど寒波襲来の最中で、1日夜に東京にも積もった雪の後で、日陰には残雪が白く残っている状況でした。西武電車で飯能を過ぎ、いよいよ秩父の山並に入ると、吾野付近で青空なのに風花が舞ってくるという天候でした。秩父盆地に出てみると、降雪の心配は無くなりましたが、気温は相当低く感じられました。西武秩父駅で下車し、お花畑駅まで歩いて秩父鉄道に乗り換え長瀨まで。駅前で今日参加の12名を確認して、寶登山神社へ、約10分で到着。今年、鎮座1900年という神社に本年の山行の安全を祈願してから各人、簡単に自己紹介。登山道は車も走る道で、日陰は雪が残っていて、解けたり、圧雪に成っていたりで、滑りやすいので、朽本先輩は大事をとってロープウエイで頂上へ向かいました。老若男女、多数の登山者で、ちょっとしたラッシュ並み、一時間ほどで、頂上下の奥宮に着く、朽本さんも既に待っていて、奥宮にお参り後、裏手へ回って、蠟梅林の側を登って497メートルの寶登山頂上へ。



北風が強く寒い。記念撮影もそこそこに、少し下った南斜面の風除けの出来るところで、お弁当。12時半に下のロープウエイ駅の広場に集合ということにして、自由行動。下りは、歩きやすくて全員で順調に下山。予定より早いので、荒川岸まで行き、戻って、長瀨駅前の蕎麦屋で打ち上げ会、14時45分に散会し、夫々帰路につきました。[東京支部 HP 報告書（報告者：青野より）抜粋]



# 写真同好会

会長 小林 渡 (昭 38 学電)

写真同好会「多賀いちょう写真部」は会員 15 名、年 2 回の撮影会と会報表紙の掲載写真選定時にデジカメ講習会を実施しております。埼玉支部「ワンダーフォトクラブ」とは連携し相互の撮影会に参加、技術の向上、親睦を深めております。(文中敬称略)。

平成 21 年度の活動状況は以下の通りです。

## \* 「こうがく祭」写真展出版

平成 21 年 6 月 6 日 (土) 新装の多賀工業会館に展示しました。会報 12 号で既報。

## \* 北茨城一泊撮影会

(主催：埼玉ワンダーフォトクラブ)

平成 21 年 6 月 4、5 日実施、総勢 10 名、玉川信二 (28 学電)、小林渡 参加。平潟漁港、六角堂、岡倉天心の墓等で写真撮影、曇りのため夕景の撮影は断念、夕食後恒例の写真研究会開催、翌日「こうがく祭」写真展見学後解散しました。

## \* 裏磐梯一泊撮影会

(主催：埼玉ワンダーフォトクラブ)

平成 21 年 9 月 14、15 日実施、総勢 11 名、玉川信二、小林渡参加。14 日、猪苗代駅集合、中瀬沼、檜原湖東岸で夕日撮影、天候今一でした。夕食後写真研究会開催。15 日朝霧期待して檜原湖西岸向かうも雨が激しく断念、小雨の五色沼、猪苗代湖、野口記念館見学、猪苗代駅で解散しました。

## \* 秋の撮影会 (多摩動物公園、昭和記念公園)

平成 21 年 10 月 24 日実施、玉川信二、山崎慎一郎 (31 学原)、小林渡、三好成實 (39 学機)、石川久 (44 学子) 参加。多摩動物園ではシャトルバスからのライオンの撮影は迫力満点でした。昭和記念公園、コスモスの最盛期でしたが残念ながら天候に恵まれませんでした。

## \* 支部総会写真展

出展者 13 名、32 点の傑作揃いの大盛況でした。詳細は支部ホームページ平成 21 年度総会報告参照下さい。

一般会員の方からの出展を歓迎します。管理の関係から事前に小林渡まで電話又はメールで連絡下さい。

## \* 写真部会合

平成 22 年 3 月 18 日実施、参加者 15 名。

1. 東京支部会報第 13 号表紙写真の選定  
出展数 24 点、参加者全員の投票で 5 点選出、協議の結果 澤野孝慈 (37 学機)「雨情」に決定しました。今号から支部ホームページ上で一般公募しました。
2. デジタル写真教室開催  
・「一からわかるデジタル写真教室」講師 鈴木日出男 (30 学原) 全日本写真連盟会員  
・「デジタルカメラ画像処理何でも相談コーナー」講師 吉田宗昭 (39 学精) 元オリンパス

光学でデジタルカメラ開発に従事、日本写真家協会会員、現デジタルカメラ教室開催。

## \* 会員活動状況

齋田和夫 (28 学機)、鈴木日出男、澤野孝慈、小林渡、堀口正治 (46 院子) の各氏、全日写連に属し各種写真展等で活躍しています。活動歴は下記。

1. 齋田和夫
  - ・5 月 第 59 回埼玉県美術展写真の部 県知事賞
  - ・9 月 第 52 回米国オレゴン州国際写真展 入選
  - ・12 月 第 70 回国際写真サロン展 入選
2. 鈴木日出男
  - ・5 月 第 59 回埼玉県美術展写真の部 入選
  - ・9 月 彩の国高齢者創作展写真の部 県知事賞
  - ・9 月 第 26 回埼玉県写真サロン 入選
  - ・1 月 第 13 回花物語写真展 特選
3. 澤野孝慈
  - ・12 月 2009 古都鎌倉から湘南大磯撮影会 入選
  - ・1 月、3 月 全日写連神奈川県本部月例会 入選
4. 小林渡
  - ・8 月 第 45 回神奈川県美術展写真の部 入選
  - ・10 月 第 54 回全神奈川サロン公募展 入選
  - ・2 月 2010 公募「箱根フォト百選」入選
  - ・3 月 全日写連神奈川県本部 2009 月例審査年度賞「自由部門」第 1 位、「ネイチャー・風景部門」第 5 位
5. 堀口正治
  - ・4 月「北関東を撮る」写真展 準特選
  - ・9 月「茨城写真サロン 2009」入選
  - ・9 月「第 41 回カラーフェア」優秀賞
  - ・10 月第 24 回国民文化祭・しずおか 2009 入選
  - ・2 月「真壁を撮る」秀作・入選

## \* 入会のご案内

撮影会の案内は東京支部ホームページに掲載しております。

連絡窓口 小林 渡 TEL/FAX

045-363-0785 E-mail: [koba-wt@nifty.com](mailto:koba-wt@nifty.com)

掲載写真 平成 22 年 3 月 18 日 写真部会合  
前列左から 三好、鈴木、吉田、三本木、広瀬  
後列左から 澤野、矢嶋、石川、阿部徳治、  
阿部國男、玉川、小林、菊池、兼子



# こうがく祭写真展

石川 久 (昭 44 学子)

平成 22 年 6 月 5 日(土) 茨城大学工学部日立キャンパスにおいて「こうがく祭+オープンキャンパス」が開催され、キャンパス内の一角にある多賀工業会館では、各支部(東京支部、埼玉支部、水戸勝田支部、千葉県支部、鹿行支部)から応募された合計 50 点の作品が展示されました。

日本国内のみならず海外で撮影された作品、風景や花やスナップと被写体も多種多様、カラーも白黒もそしてコンテストで入選した作品等、実に様々な作品が並びました。



図 1 展示風景

新宿駅前で三好成實(昭 39 学機、写真部副部長)さんと合流し、雨上がりの多賀工業会館に到着したとき、埼玉支部の上田支部長、白石幹事長がすでに到着していて、多賀工業会木曾会長と懇談していました。我々もしばしのあいだ懇談に加えて頂きました。



図 2 鑑賞会は一点毎に

間もなく堀口正治(昭 46 院子、東京支部写真部)さんがこの展示会に合流しました。彼は各種写真コンテストで入選している凄腕の持ち主です。事前にこうがく祭で会おうということにしていました。木曾会長、小林幹事長、今村事務長にも加わって頂き、写真を見ながら各写真の印象や作家が意図する思い、表現力等について堀口さんを中心に鑑賞会が始まりました。お互いに作品の批評を

言い始めると、自分が写真から受ける印象や作者の意図も整理され「なるほど、さすが！」と思ったり、写真を撮る場面が想像されたりしてきました。それが楽しくもあり、あっという間に時間が経ちました。



図 3 キャンパス内の賑わい

写真展示会場には 2 時間ほどいたのですが、写真展示への来訪者は多くはありませんでした。立地条件が悪いというわけではないのですが、単なる写真展だけでは入りづらいのかもしれませんが。学生による研究室紹介の賑わいに比べると少し寂しい印象を持ちました。しかしながら、去年は埼玉支部と東京支部からの作品だけでしたが、今年は水戸勝田支部、千葉県支部、鹿行支部からの参加もあり、去年に比べれば広がりも大きくなったと思います。私も訪れた他支部の方とお会いできて嬉しかったし、また、来年度の盛り上がりを楽しんでいます。

最後にこの企画を立案して頂いた木曾会長や小林幹事長、そしてこの日のために写真作品の掘り起こしに奔走された各支部の写真部長や送られた写真の展示作業をして頂いた今村事務長のご苦勞に感謝申し上げます。

写真出展者 (敬称略、ハンドアウトリストから) :  
東京支部 菊地玲二(昭 26 専通)、玉川信二(昭 28 学電)、鈴木日出男(昭 30 学原)、澤野孝慈(昭 37 学機)、小林 渡(昭 38 学電)、三好成實、吉田宗昭(昭 39 学精)、堀口正治、石川久、五十嵐喜良(昭 47 学子)

埼玉支部 柳田裕美(昭 19 専精)、田島廣一(昭 20 専精)、清水乙臣(昭 26 専通)、斎田和夫(昭 28 学機)、中原太平(昭 28 学電)、寺門 修(昭 30 学原)、上田正雄(昭 37 学電)、阿部徳治(昭 37 学化)、高橋伸二(昭 41 学機)、阿部国男(昭 42 学精)

水戸勝田支部 深谷淳(昭 36 学機)

千葉県支部 高萩隆司(昭 38 学電)、川野辺 建(昭 40 学精)

鹿行支部 樫村壽城(昭 36 学電)、川浪英靖(昭 43 学金)、広木伸好(昭 45 学金)、出頭信二(昭 58 学金)



# 平成 22 年度東京支部 組織体制と担当役務

平成 22 年 5 月 24 日 改訂

- 顧問 幸道 貞一 (昭 22 専通)、渡辺 貢 (昭 26 専原)、  
近江 義勝 (昭 28 学電、多賀工業会本部理事 副会長)
- 支部長 三本木 武 (昭 30 学金、多賀工業会本部理事)
- 副支部長 鈴木 日出男 (昭 30 学原)、上月 秀俊 (昭 36 学機)
- 幹事会 幹事長 廣瀬 行一 (昭 38 学電)  
副幹事長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)  
会計幹事 菅谷 禎男 (昭 42 学機)  
事務局長 駒場 方耀 (昭 38 学機)
- 監事 小林 一 (昭 38 学機)、小澤 茂 (昭 43 学子)
- 会報編集室 編集室長 兼子 八郎 (昭 38 学電)  
副編集室長 小林 渡 (昭 38 学電)、菅谷 禎男 (昭 42 学機)、石川 久 (昭 44 学子)  
室 員 山崎 慎一郎 (昭 31 学原)、小澤 茂 (昭 43 学子)、松田 秀雄 (昭 49 院子)、  
二川 克美 (昭 63 院情)
- ホームページ編集室 編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)  
副編集長 飯塚 英一 (昭 46 学電)、小林 渡 (昭 38 学電)、兼子 八郎 (昭 38 学電)
- 名簿編纂室 編纂室長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)  
副編纂室長 一
- |                   |                 |                |
|-------------------|-----------------|----------------|
| 昭 16 年から 26 年担当   | 菊地 玲二 (昭 26 専通) |                |
| 昭 28 年から 35 年担当   | 上月 秀俊 (昭 36 学機) | 注) 昭 27 年度卒は無。 |
| 昭 36 年から 45 年担当   | 駒場 方耀 (昭 38 学機) |                |
| 昭 46 年から 50 年担当   | 大泉 雅靖 (昭 40 学精) |                |
| 昭 51 年から 55 年担当   | 広瀬 行一 (昭 38 学電) |                |
| 昭 56 年から 60 年担当   | 菅谷 禎男 (昭 42 学機) |                |
| 昭 61 年から平成 7 年担当  | 石川 久 (昭 44 学子)  |                |
| 平成 8 年から平成 17 年担当 | 飯塚 英一 (昭 46 学電) |                |
- 幹事会事務局の構成と役務
- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 上月 秀俊 (昭 36 学機) | 全般事項               |
| 広瀬 行一 (昭 38 学電) | 主に総会担当及びその他支部長特命事項 |
| 兼子 八郎 (昭 38 学電) | 主に会報、ホームページ担当      |
| 大泉 雅靖 (昭 40 学精) | 主に名簿担当             |
| 菅谷 禎男 (昭 42 学機) | 主に会計担当             |
| 駒場 方耀 (昭 38 学機) | 主に幹事会担当            |
- 同好会
- 囲碁部 部長 田中栄太郎 (昭 40 学化)、副部長 山田 恵規 (昭 42 学電)
- ゴルフ部 部長 青野 潔 (昭 41 学化)、副部長 小澤 茂 (昭 43 学子)
- 写真部 部長 小林 渡 (昭 38 学電)、副部長 三好 成實 (昭 39 学機)
- 山遊部 部長 菅谷 禎男 (昭 42 学機)、副部長 田崎 耕八 (昭 32 学電)
- 社交ダンス部 部長 瀬在 城雄 (昭 31 学原)
- H22 年度総会幹事 菅谷 禎男 (昭 42 学機)、小森 廣樹 (昭 42 学機)、森田 徹郎 (昭 42 学電)、  
山田 恵規 (昭 42 学電)、
- その他 幹事 玉川 信二 (昭 28 学電)、榊原 康夫 (昭 32 学原)、高野 久弘 (昭 35 学機)、  
小宅 仁 (昭 36 学電)、新沼 厚生 (昭 38 学電)、海老原 雄二 (昭 38 学金)、  
大久保 孝紘 (昭 38 学電)、白石 道彦 (昭 38 学化)、高木 二郎 (昭 38 学化)、  
黒羽 昇 (昭 38 学精)、矢嶋 國男 (昭 38 学精)、藤枝 伸一 (昭 45 学子)、

# 平成21年度会費納入者

(敬称略、順不同)

(平成22年5月31日までに納入された方)

\* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。未納の方はご入金をお願いいたします。  
Tel & FAX 045-891-2232(本名簿作成者:兼子)

氏名の前の□は平成20年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成22年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

昭16専機 大矢 純一④	昭23専電 塩野 謙	昭30学機 田口 忠夫	昭36学電 小宅 仁
昭16専原 小川 義夫	昭23専通 大木 康夫	昭30学原 成井 浩	昭36学電 川松 正長
昭17専機 大野 三知雄	昭23教電 斉田 耕平	昭30学原 石川 英二	昭36学電 橋本 正直
昭17専機 田邊 邦行③	昭24専機 小林 長和	昭30学原 鈴木 日出男	昭36学金 <sup>1</sup> 高信 和明
昭17専金 坪能 進	昭24専精 鳥山 尚利	昭30学電 木村 好延	昭37学機 坪 弘
昭17専金 依田 連平	昭24専通 城田 一成	昭30学金 黒沢 正蔵	昭37学機 澤野 孝慈④
昭17専電 小林 幹	昭24専通 戸木 禮一	昭30学金 三本木 武	昭37学機 野本 光彦
昭18専機 菅原 庄一	昭24専舶 小峰 弘	昭31学機 高橋 義博	昭37学機 服部 則男
昭18専機 山本 栄治	昭24専舶 杉山 六郎	昭31学機 横山 亨夫	昭37学機 堀 恒夫
昭18専精 立枝 茂男	昭25専原 忍田 邦夫	昭31学原 瀬在 城雄	昭37学機 宮沢 信夫
昭18専金 市島 健男⑦	昭25専電 高橋 清	昭31学原 山崎 慎一郎	昭37学電 上田 正雄
昭18専金 山田 実	昭25専電 村山 錦右	昭31学電 大内 孝	昭37学電 田北 嵩晴
昭19専原 朽本 二郎	昭25教機 酒井 三郎	昭31学電 藤川 俊明	昭37学金 篠原 康祐
昭19専原 藤田 勲	昭26専原 永山 正美②	昭31学金 細井 陽子	昭37学金 舟田 隆
昭19専精 小泉 篤	昭26専通 菊地 玲二⑥	昭32学機 伊藤 義次	昭37学化 阿部 徳治
昭19専精 柳田 裕美	昭26専舶 <sup>1</sup> 故・井坂 孝	昭32学機 國井 榮次①	昭38学機 河上 弘一
昭19専金 大鷹 浩介	昭28学機 坂本 泰彦	昭32学機 柴田 勇治	昭38学機 小林 一①
昭19専通 酒井 忠光	昭28学機 関 英雄	昭32学機 平沢 正一	昭38学機 駒場 方耀
昭20専機 有井 満①	昭28学機 高田 丈夫	昭32学原 矢野 睦男	昭38学機 桜井 衛
昭20専機 岡本 公夫①	昭28学機 宮本 昇	昭32学原 榊原 康夫	昭38学機 佐藤 幸一
昭20専原 友保 伊弘	昭28学機 小白井 和典	昭32学電 田口 嘉男	昭38学機 丹下 宏
昭20専精 山田 初太郎	昭28学原 戸島 日出雄	昭32学電 田崎 耕八	昭38学機 豊田 元雄
昭20専精 田島 廣一	昭28学原 柳沢 裕	昭32学電 山下 正明	昭38学機 寺門 章
昭20専電 竹内 靖夫	昭28学原 <sup>1</sup> 山口 茂男	昭32学電 横山 衛②	昭38学機 <sup>1</sup> 中村 好秀
昭20専電 都築 久一	昭28学電 稲見 孝	昭33学機 奥 康治①	昭38学機 長谷川 幸夫①
昭20専電 山内 宏	昭28学電 近江 義勝	昭33学原 山崎 勝雄	昭38学機 半田 守正
昭20専通 山本 柰兵衛	昭28学電 白瀬 達郎	昭33学原 吉久保 節男	昭38学機 徳江 景英
昭22専機 乗 智成	昭28学電 玉川 信二	昭33学金 荒川 靖	昭38学電 今橋 富美男
昭22専原 石川 義男①	昭28学電 橋本 久美	昭33学金 三浦 陽	昭38学電 遠藤 喜久男①
昭22専金 明石 和夫	昭28学電 藤田 史郎	昭33短電 伊藤 誠二	昭38学電 大竹 充①
昭22専通 幸道 貞一	昭28学電 山崎 恵三	昭34学原 粕谷 宏夫	昭38学電 大久 忠雄
昭22専通 谷口 貞作②	昭28学電 中原 太平	昭34学原 秋山 光庸	昭38学電 兼子 八郎③
昭22専通 中村 弘	昭29学機 雨澤 道雄	昭34学電 高野 史雄	昭38学電 後藤 紀夫
昭22専通 前田 豊昭	昭29学機 永島 隆	昭35学機 高野 久弘	昭38学電 小林 渡
昭22専通 今井 俊夫	昭29学原 石橋 弘①	昭36学機 <sup>1</sup> 柏木 尚	昭38学電 佐々木 登喜夫②
昭22専通 保坂 博	昭29学原 大久保 半吾	昭36学機 上月 秀俊	昭38学電 田川 政行③
昭23専機 梅田 政夫	昭29学原 奥野 真治	昭36学機 境 茂郎	昭38学電 橋本 政巳
昭23専機 向芝 新市	昭29学電 森 章太郎②	昭36学機 真下 知行②	昭38学電 熊谷 文男
昭23専原 飯島 公正	昭29学金 照沼 清	昭36学機 森永 隆宏	昭38学電 高萩 隆司
昭23専金 菊地 秀利	昭30学機 佐藤 久弥	昭36学機 横山 馨	昭38学電 小島 淳

昭38学電 坂野 栄	昭39学精 吉田 宗昭	昭42学精 下ノ村 勇③	昭46学電 飯塚 英一
昭38学電 橘 弘	昭40学機 熊倉 通	昭42学精 山本 蕃	昭46学電 狩野 守
昭38学電 寺内 賢一①	昭40学電 ③手塚 勇夫①	昭43学機 遠藤 義和	昭46学子 栗原 功幸
昭38学電 広瀬 行一⑥	昭40学電 山崎 輝行	昭43学電 後藤 豊弘③	昭46院機 岡本 和彦③
昭38学金 海老原 雄二	昭40学金 松本 二郎	昭43学電 橋本 弘道	昭46院子 堀口 正治
昭38学化 大塚 進④	昭40学化 高久 洋	昭43学子 小澤 茂	昭47学機 高田 洋①
昭38学化 小田倉 勝夫	昭40学化 高橋 勇次	昭43学子 川野輪 滋美	昭47学子 五十嵐 喜良
昭38学化 白石 道彦	昭40学化 田中 栄太郎	昭43学子 佐藤 将彦	昭48学機 宮城 緑郎
昭38学化 高木 二郎	昭40学化 森 俊和	昭43学子 鈴木 弘道④	昭48学金 佐々木 光正④
昭38学化 矢部 功一	昭40学精 大泉 雅靖	昭43学子 角田 勇	昭48院子 鈴木 幹夫
昭38学精 磯部 亮	昭40学精 寺 紘一①	昭43学子 野崎 淳一①	昭49院子 松田 秀雄④
昭38学精 市村 敬司⑤	昭40学精 中田 健②	昭43学子 大武 国男	昭53学電 ①水島 好彦
昭38学精 上野 武彦①	昭41学化 青野 潔	昭43学子 袴塚 邦彦④	昭53院子 中沢 裕
昭38学精 ④西村 政雄	昭41学化 小谷野 英勝	昭44学子 石川 久	昭54学機 ⑤佐々木 秀朗
昭38学精 矢嶋 國男	昭41学精 高橋 徹男	昭44学子 笹島 晃	昭54学精 吉田 武史
昭39学機 三好 成實	昭42学機 ①小森 廣樹	昭44学子 吉田 真吾	昭56学機 峰村 勝幸④
昭39学機 小林 章夫①	昭42学機 菅谷 禎男	昭44学子 阿部正志	昭59学子 仲澤 斉④
昭39学機 須藤 和英①	昭42学機 武田 昌房	昭44学子 萩原春嬉	昭60学電 太田 悦子①
昭39学機 佐川 六郎	昭42学機 藤嶋 久波	昭44学精 岩波 茂	昭60学精 豊福 秀敏
昭39学電 原 俊彦	昭42学電 森田 徹郎	昭44学精 菊地 政行	平08院生 東 學
昭39学電 大原 広哉	昭42学電 山田 恵規④	昭44学精 山口 良治	合計 249名
昭39学金 入江 暢泰	昭42学金 小藺井 健③	昭45学子 佐藤 允①	
昭39学金 横山 安行②	昭42学化 井藤 紘	昭45学子 藤枝 伸一	

## 平成20年度分会費納入者

昭22専通② 故・小塚 潔

平成21年度分と同時納入の方は、平成21年度会費納入者欄の氏名左側に数字入りの口印をつけて表示しています。  
(平成21年6月1日～平成22年5月31日まで)

## 平成21年度寄付者名簿

昭18専金 市島 健男	10,000
昭26専通 菊地 玲二	3,000
昭28学電 玉川 信二	2,000

ご寄付有難うございました。

昭43学子 野崎 淳一	6,000
昭53院子 中沢 裕	1,000

**年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。**

**皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。**

この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度(平成21年度)の年会費は未納となっています。

**会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。**

卒業年学科の後の(H17～H21)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H17年からH21年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。

- (A)、**11111**→5年間分完納。
- (B)、**11110**→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C)、**11100**→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D)、**00000**→この5年間未納。

101-1234 会報13号在中  
東京都千代田区多賀町1-2-3  
多賀本町住宅 3番街 5-2345  
**多賀専 学太郎様**

# ホームページ編集室から

HP編集室長 矢野 睦男 (昭32学原)

会員の親睦を図る目的で東京支部のホームページ (HP) 制作を2004年6月より開始し、同年の10月より本部のサーバーを借りて公開しました。その後、2006年末に東京支部として独自にレンタルサーバーを借り、

URL : <http://tokyo.tagakgk.com>

として、運用を開始し今日に至っております。

この間に埼玉支部、及び千葉県支部も同じサーバーを利用することとなり、

埼玉支部 : URL : <http://saitama.tagakgk.com>

千葉県支部 : URL : <http://chiba.tagakgk.com>

として公開運用されています。

この間東京支部ホームページに掲載されたページは総会の案内・報告を初めとして、同好会活動の案内と報告及び会員からの投稿など170ページ強となりました。一方この間のアクセス件数は8,000件弱、日割りにすれば3.6回程度となり、会員数を考えると、会員の方に積極的に閲覧されていないのではと危惧されます。

上記の事情からホームページによる情報の提供をPRするため、Eメールを使って、新規ページの情報を提供することを企画しました。この会報が会員の皆様に配達されるころには、Eメールアドレスをお持ちの方にはメールを使った情報が提供されていることと思います。

メールの内容は、新規ホームページのアドレスの連絡など簡単なものを予定しています。事務局で把握している範囲でメールを発信しますが、もし漏れておられる方がおられましたら、トップページより編集室宛WEBメールにて御連絡をお願いします。また、配信を不要だとされる方がおられましたら、このメールに対する返信は不可に設定してありますので、お手数をお掛けしますが、メール記載の管理人アドレス宛ご連絡をお願いします。

HP編集室としてはEメールで提供された情報を元に、ホームページにアクセスし、各種の行事に積極的にご参加されることを祈っています。また、ホームページの制作に御協力いただける方を探しています。手を挙げていただければ幸いです。

## 編集後記

表紙写真はホームページで公募し(30P参照)、支部役員、会報担当者、写真部員の合同審査で決定しました。来年もこぞってご応募下さい。(小林)

編集委員の役得といえ、同窓の先輩・後輩の方々が、全力で仕事に興味に生きた経験を随筆を通して真っ先に読めること、一部内容の問い合わせができることです。今号も、皆様のご期待にも応えられる内容だと自信を持っています。(菅谷)

支部創立30周年記念ということで、より多くの会員に書いていただく機会と場が提供された。何を書いてもらうか、誰に頼むか、どうやって頼むか、頼まれてくれるのか、期限を守ってもらえるのか、少人数でいざ取り組むとなかなか難しい。今回はEメールで依頼したが、回答率は約20%。学生時代の数年間を多賀の地で過ごしただけの結びつき、20代から80代までの人たちが顔を合わせたこともない。会報編集室の思惑通りとはいかなかったが、善意の思いやりの賜物である。(石川)

木曾会長と神永工学部長からの特別寄稿が、記念号を飾ってくれました。また、多くの仲間から寄稿があり、今回も読み易い記事が見事に仕上がったと自負しています。来年からは若い女性会員からの美しい原稿が届き、更に個性溢れる会報になると期待しています。編集作業中に広辞苑やイ

ンターネットで文言を確認するのは、老化防止に大いに効果があると信じている昨今です。(小澤) この会報の編集会議は、JR新宿駅近くの喫茶店で行われるのが恒例化している。一杯のアイスコーヒーより、一杯のビールの方が安い。この一杯のビールで2.5時間ほど記事について議論し、今回の特集号が発刊できることになった。皆さんに楽しく読んでいただけたらと思っています。(山崎)

本号から編集室員をさせて頂くことになりました。7月の編集会議には出席出来ませんでしたが、諸先輩にご指導を仰ぎながら努めて行きたいと思っています。よろしくお願い致します。(松田)

新任幹事としてどのような貢献ができるのか、まだ自分の中でも迷っていますが、少しずつ学んで行きたいと思っています。少しずつでも皆さんのお役に立っていければと思っています。(二川)

去る6月27日(日)多賀工業会平成22年度理事會が開催され、会長挨拶で木曾会長から突然一身上の都合により今限りで会長を辞任したい旨の申し出がありました。近隣支部副会長の白井敏雄(昭40学電)氏が次期会長候補者として選出され、平成23年6月の次期總會(東京支部が担当します)に諮られることになりました。(三本木)

編集を終えふと外を見上ぐれば

茜色なる雲のたなびく (兼子)

### 編集担当委員

山崎 慎一郎 (昭31学原)	兼子 八郎 (昭38学電)
小林 渡 (昭38学電)	菅谷 禎男 (昭42学機)
小澤 茂 (昭43学子)	石川 久 (昭44学子)
松田 秀雄 (昭49院子)	二川 克美 (昭63院情)

### 多賀工業会東京支部会報 [第13号]

発行 平成22年8月28日  
発行者 支部長 三本木 武  
〒173-0003 東京都板橋区加賀 2-3-1-303  
TEL&FAX 03-3961-0248

# 「東京支部会則」

(平成16年10月23日改正)

## 第1章 総則

第1条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

## 第2章 事業

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

## 第3章 会員

第4条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

## 第4章 役員

第5条 本会は次の役員を置く。

支部長	1名
副支部長	若干名
幹事長	1名
幹事	若干名
会計幹事	1名
監事	2名
その他(同好会幹事、相談役、顧問など)	若干名

第6条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第7条 役員の仕事は、次の通りである。

支部長	本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。
副支部長	支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。
幹事長	幹事の業務を統括する。
幹事	会の運営業務を夫々分担して遂行する。
会計幹事	本会の収支、及び会計を担当する。
監事	会計を監査し総会で報告する。
同好会幹事	同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。
相談役	支部長の相談に応ずる。
顧問	支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第8条 役員の仕事は2年とし、重任を妨げない。

## 第5章 会議

第9条 支部総会は、原則として毎年10月に開催す

る。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第11条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年4回(2、5、8、11月の第4土曜日)開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第12条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の3分の2以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

## 第6章 会計

第13条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第14条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第15条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成16年10月23日より施行する。

## 細則規定

第1条 年会費は、2,000円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。但し、一旦納入の会費は返還しない。

第2条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者(但し、5年連続未納者には6回目に通知し以降配布を停止する)
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近3年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第3条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第2条の対象者以外にも広げて発送する。

第4条 慶弔規定は別途定める。

第5条 80歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第6条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成16年10月23日よりより施行する。平成20年5月24日に第5条を追加し、旧第5条は第6条に繰り下げとした。

ご披露宴・結婚式場  
 大親の絵のある レストラン ランドーレ  
 不忍池と上野の社を 眼下に眺めて ビヤガーデン  
 ご宴会・出張料理  
 伝統に培われた 純フランス料理 グリル フクシマ

創業明治5年  
**左野精養軒**  
 〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58  
 TEL 03-3821-2181 FAX 03-3822-1330  
<http://www.seiyoken.co.jp>

**CYBER LINKS**  
 取締役会長 村上 正義 (原動S18) 代表取締役社長 村上 恒夫  
 株式会社 サイバーリンクス *WILL makes anything*

**本 社** 〒641-0012 和歌山市紀三井寺849-3 TEL 073-448-3600(代) FAX 073-448-3609  
**各 部 門**  
 通信システム事業部 TEL 073-448-3610 FAX 073-448-3619  
 地域ネットワーク事業部 TEL 073-448-2517 FAX 073-448-3639  
 カスタマサービス事業室 TEL 073-448-3640 FAX 073-448-3649  
 モバイルネットワーク事業部 TEL 073-448-3680 FAX 073-448-3689  
 リテイルネットワーク事業部 TEL 073-448-3660 FAX 073-448-3669  
**各事業所**  
 東日本支社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 HORIZON.1ビル5F TEL 03-5285-3711 FAX 03-5285-3700  
 西日本支店 〒530-0056 大阪市北区兎我野町6-12 NTT西日本兎我野ビル4F TEL 06-6316-8288 FAX 06-6316-0075  
 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル7F TEL 092-432-2690 FAX 092-432-2692  
 田辺営業所 〒646-0032 田辺市下屋敷町31番地1 テレコムビル5F TEL 0739-26-1300 FAX 0739-81-3225  
 新宮営業所 〒647-0014 新宮市浮島1番28号 中本ビル2F TEL 0735-22-6887 FAX 0735-22-7180  
 仙台オフィス 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-5 タカノホル第25ビル12F TEL 03-6413-0350 FAX 03-3558-3055  
 MDBセンタ 〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-6-22 城北センター3F TEL 03-6413-0350 FAX 03-3558-3055

私たち大協印刷は、  
 印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。  
 ぜひ一度ご相談ください。

**大協印刷株式会社**  
 〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14  
 TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp  
<http://www.daikyo-print.co.jp>